マイクロハイファイコンポーネントシステム

VH-55MD

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

MDLP

B60-4905-00 00 (CH) (J) AP 0007

はじめに

本機の特長

❑ レイアウトフリー

従来の横置きに加え、新感覚の縦置きにも対応しています。スピーカーとあわせ、お部屋にあったレイアウトが楽しめます。

❑ CD→MD High Speed（倍速）ダビング対応 →45

CDからMDへカンタン、短時間でダビングできる便利な機能です。
（従来の全曲に加え1曲ダビングにも対応しました。）

❑ MDロングプレイモード対応 →37

ATRAC 3 による長時間録音／再生機能（**LP2**、**LP4**）を搭載。標準の 2 倍(約 160 分 ***1**）または 4 倍（約 320 分 ***1**）のデジタル長時間録音／再生が可能になりました。
***1**： 80 分ディスクを使用した場合

❑ 省電力設計

電源オフ（スタンバイ）時の消費電力は0.25W以下に設計されています。

❑ バックライト付き液晶ディスプレイ

CDやラジオ等の動作状態が一目でわかる高品位グラフィック表示ディスプレイを搭載。

❑ CDのテキスト情報表示機能（CD-TEXT対応）

本機では、CD-TEXT対応のディスクを再生すると、CDに収録されたディスクタイトルと曲のタイトルがアルファベットや数字の場合、自動的に表示されます。CD-TEXT対応のディスクでも表示できないものもあります。

❑ 放送局をオートプリセットする（エリア別FM放送局名自動表示機能）

現在お住まいの都道府県名を設定すると、その地域で受信可能なFM放送局の周波数と放送局名を自動的に記録表示することができます。

❑ サンプリング・レート・コンバーター搭載

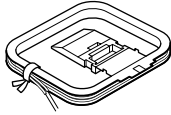
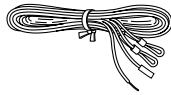
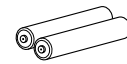
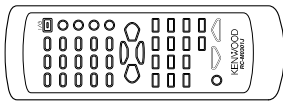
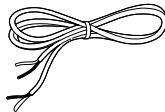
BS/CSチューナーなど、衛星放送のPCMデジタル録音ができる光デジタル入力端子を装備しました。

目次

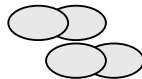
⚠ このマークのついた項目は、安全確保のために必ずお読みください。

付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

AM ループアンテナ（1個）

FM 室内アンテナ（1本）

リモコン用単三乾電池（2本）

リモートコントロール ユニット（1個）

スピーカーコード（2本）

スピーカー用脚（8個）

クリーニングクロス（1枚）

化粧シート（4枚）

- 化粧シートの使いかたは、別紙の「付属の化粧シートについて」をお読みください。

スピーカーの設置とテレビについて

1. 本機のスピーカーは、設置のしかたによっては、色ムラを生じる場合があります。そのときは、一度テレビの電源を切り、15分〜30分後に再び電源をオンにしてください。テレビの自己消磁機能により、色ムラが改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、テレビからスピーカーを離して設置してください。
2. 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラが発生することがありますので、設置の際はご注意ください。
3. テレビからの電磁波の誘導作用により、本機の電源がオフ（スタンバイ）のときでも、スピーカーから音が聞こえることがあります。その場合も、テレビからスピーカーを離して設置してださい。

デモンストレーションについて

本機の様々な動作状況を表示部に次々と表示する（デモンストレーション）機能です。デモンストレーション表示は、実際の操作と聴いている音には関係なく変化します。この機能はお好みで実行、解除することができます。

- 電源がオン状態のとき、停電があったり電源プラグを抜き差しすると、自動的に"**DEMO ON**"になります。

DEMO OFF（デモンストレーション解除）：

"DEMO ON"中にmenu/demoキーを押す
（"DEMO OFF"が表示されます）

DEMO ON（デモンストレーション実行）：

電源がオンの時に本体のmenu/demoキーを約2秒押す
（"DEMO ON"が表示されます）

安全上のご注意

⚠ この頁は、感電や火災からあなたを守るため、ご使用の前に必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書（安全編）では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⦸記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

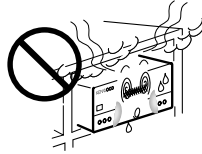
この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。）

交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない

この機器は、交流100ボルト専用です。
指定以外の電源電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

放熱に注意

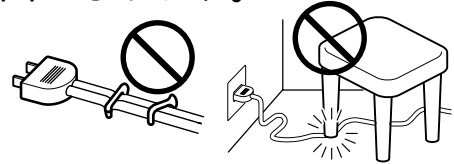
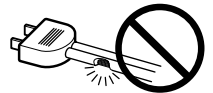
設置の際は、壁から 10cm 以上離してください。
機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔ですので、ふさがないようにご注意ください。

- あおむけや逆さま、指定方向以外の横倒しにして使用しない。
- 風通しの悪い狭い所に押し込まない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用しない。

通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

電源コードの取扱い

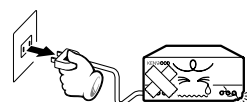
電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定しないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）修理をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

異常が起きた場合は

煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

電源プラグは清潔に

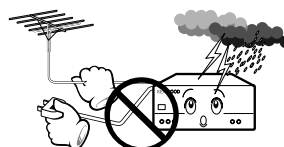
電源プラグの刃および刃の付近に埃や金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

落下した機器は使わない

機器を落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

ケースを絶対に開けないでください

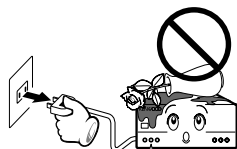
機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。
内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
点検、修理は販売店または当社サービス拠点にご依頼ください。

雷が鳴り始めたら

アンテナ線や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

機器の内部に水や異物を入れない

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かないでください。こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

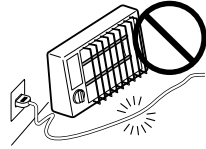
内部に水や異物などが入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電池は放置しない

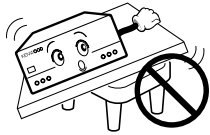
電池は、幼児の手の届かないところへ置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意下さい。
電池をあやまって飲み込むおそれがあります。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

乾電池は充電しない

乾電池は充電しないでください。
電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。

電源コードを熱器具に近付けない

電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近付けないでください。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

湿気やほこりのある場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

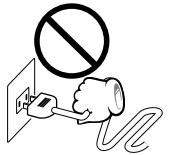
温度の高い場所には置かない

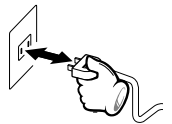
窓を閉めきった自動車の中や、直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

電源プラグの抜き差しは

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。
発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全ですと発熱したり埃が付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

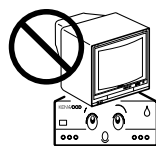
注意

長期間使用しないときは

旅行などで長期間、ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

指定以外のコードを使わない

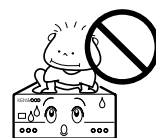
関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。
指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。

指定機器以外の物を乗せない

この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

アンテナ工事

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

機器に乗らない

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

指をはさまない

お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に手を入れないようご注意ください。
指がはさまれて、けがの原因となることがあります。

レーザー光源はのぞかない

レーザー光源をのぞき込まないでください。
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

ひび割れディスクは使わない

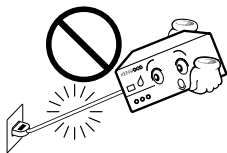
ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

注意

音量に気をつけて

はじめに音量（ボリューム）を最小にしてください。
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにしてください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

移動させる際は

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

電池の取扱い

電池は誤った使い方をすると、破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。
次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示（プラス"+"とマイナス"-" の向き）に注意し、表示通りに入れてください。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。

お手入れの際は

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービスセンター、サービスステーション、サービススポットに費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

設置のしかた

本機は、縦横自由に設置できるレイアウトフリーです。

設置上の注意

- 脚の付け替えは、必ず取り外したネジを使用してください。（別のネジを使うと火災や故障の原因となることがあります。）
- 作業の前に、必ずＣD、MDを取り出し、電源コードを抜いてください。

置きかたを変更する

本体部

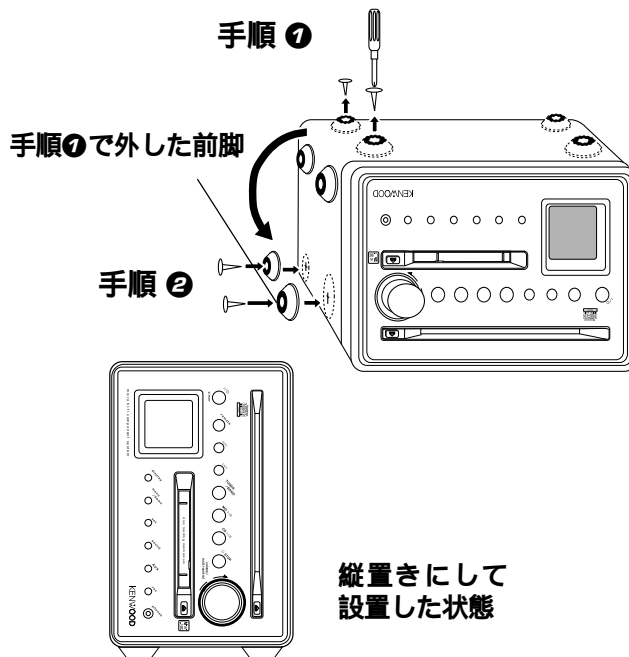
工場出荷時、脚の取り付け位置は横置きで使用する状態になっています。
縦置きにして設置するには、底面に付いている脚を側面に付け替えて設置します。

❶ 前後4本の脚を固定しているネジをドライバーを使って取り外します。

❷ 指定の位置に脚を付け替えネジで固定します。

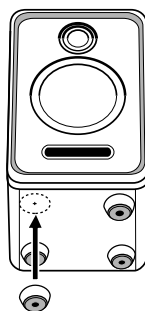
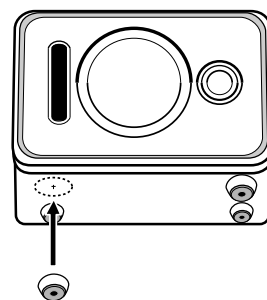
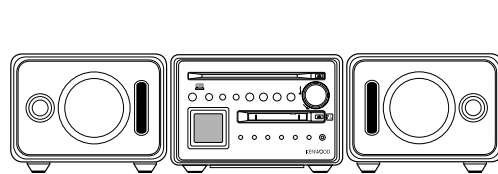
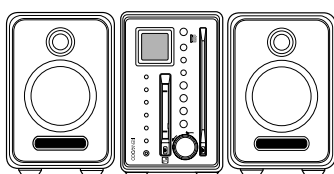
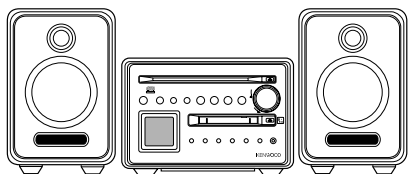
このとき手順❶で取り外したネジを使って固定します。

❸ 図のように表示部が上側になるように設置します。

注意
脚を取り付けない状態で設置しないでください。
熱が内部にこもり、火災や故障の原因になります。

スピーカー部

工場出荷時、脚は付いていません。お好みのレイアウトに合わせて脚をスピーカーに貼り付けてください。
安定するようにバランスよく、脚を4ケ所に貼り付けてください。

❶ 脚の貼り付け位置のほこり、汚れをふきとります。
❷ 付属のスピーカー用脚は両面テープの台紙をはがし、スピーカーに貼り付けます。

- レイアウトを変更する場合は、脚は市販の両面テープを使って貼り付け直してください。

レイアウト例

⚠ 注意　設置のご注意

過熱による火災の原因となりますので、放熱の妨げになるものを天板の上に置かないでください。本機背面には放熱用の空気取り入れ口があります。この空気取り入れ口をふさがないように御注意ください。

接続のしかた

1. システム(本体)と付属品の接続

⚠注意

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。付属品は、図のように接続してください。

マイコンの誤動作について

正しく接続したのに動作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、"故障かな？と思ったら…"を参照してマイコンをリセットしてください。 →84

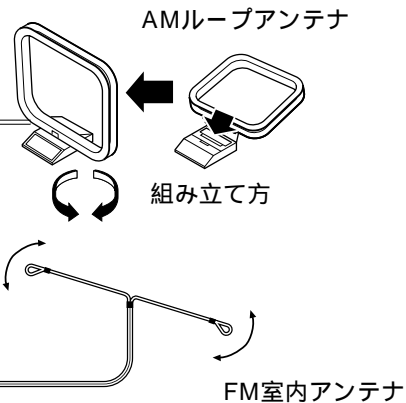
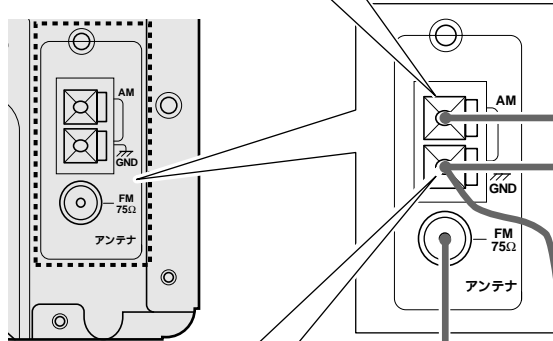
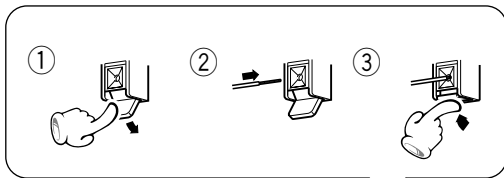
付属アンテナの接続

AMループアンテナ

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

FM室内アンテナ

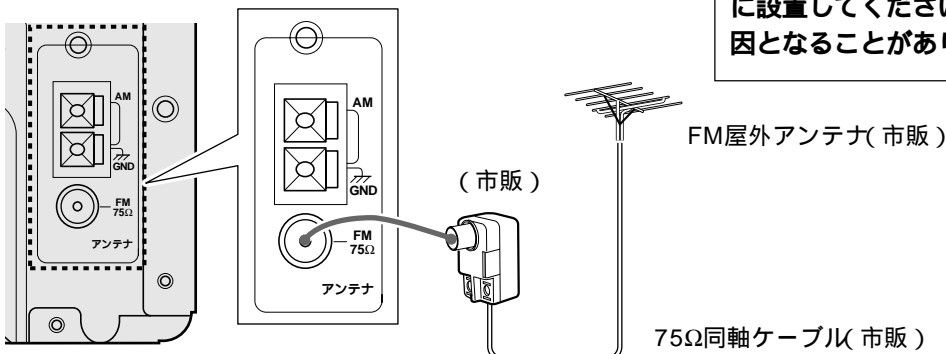
付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナ(市販)の接続をお勧めします。

❶ 端子に差し込む。
❷ 受信状態のよい位置をさがす。
❸ 固定する。

受信状態が悪いときは

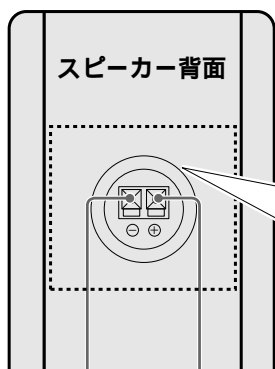
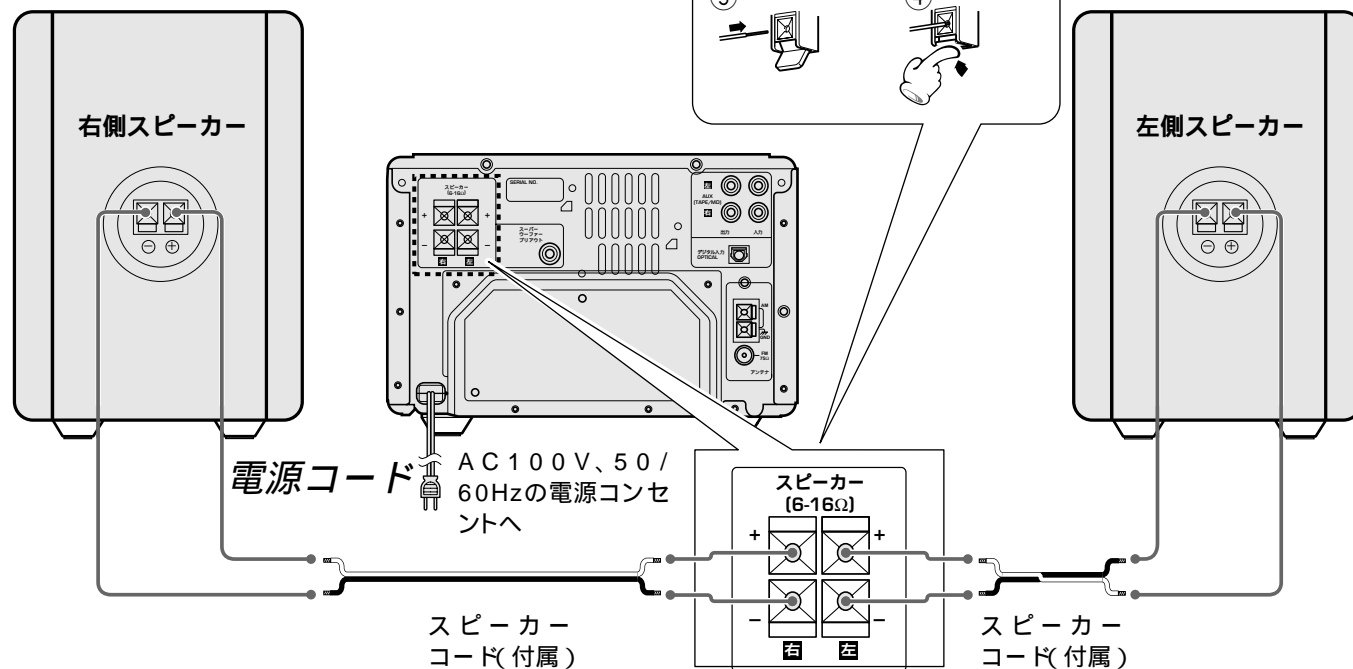
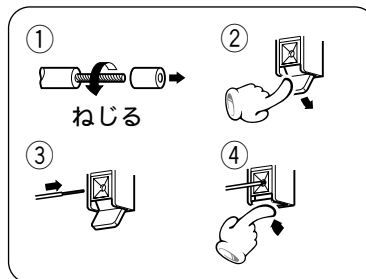
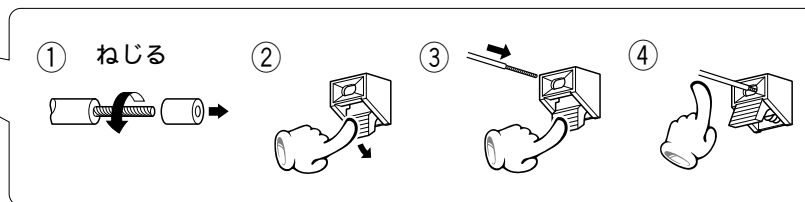
FM屋外アンテナ(市販品)との接続

75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、FM75Ω端子に接続します。屋外アンテナを接続するときは、FM室内アンテナは取り外してください。

⚠注意 屋外アンテナ設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

スピーカーの接続

スピーカーは、図のように接続します。

- スピーカーコードの＋と－は絶対にショートさせないでください。保護回路が働き、音が出なくなります。
- 極性を間違えて接続しますと、楽器などの位置がはっきりしない、不自然な音になります。
- このシステムのスピーカーには、左側スピーカー、右側スピーカーの区別はありません。

スピーカーの設置とテレビについて

1. 本機のスピーカーは、設置のしかたによっては、色ムラを生じる場合があります。そのときは、一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再び電源をオンにしてください。テレビの自己消磁機能により、色ムラが改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、テレビからスピーカーを離して設置してください。
2. 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラが発生することがありますので、設置の際はご注意ください。
3. テレビからの電磁波の誘導作用により、本機の電源がオフ（スタンバイ）のときでも、スピーカーから音が聞こえることがあります。その場合も、テレビからスピーカーを離して設置してださい。

1. 全ての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因になります。

2. 他の機器(市販品)との接続

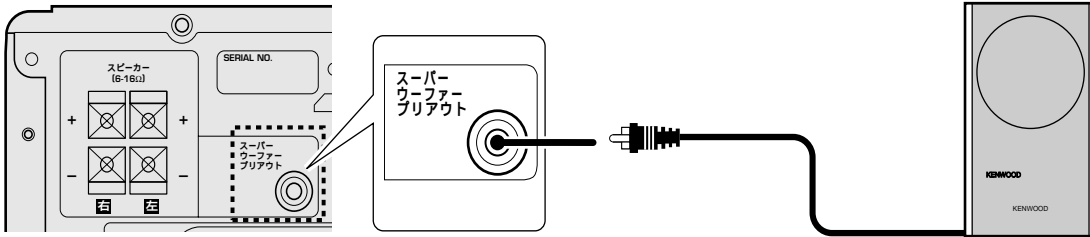
⚠注意

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。機器の接続は、図のように行なってください。

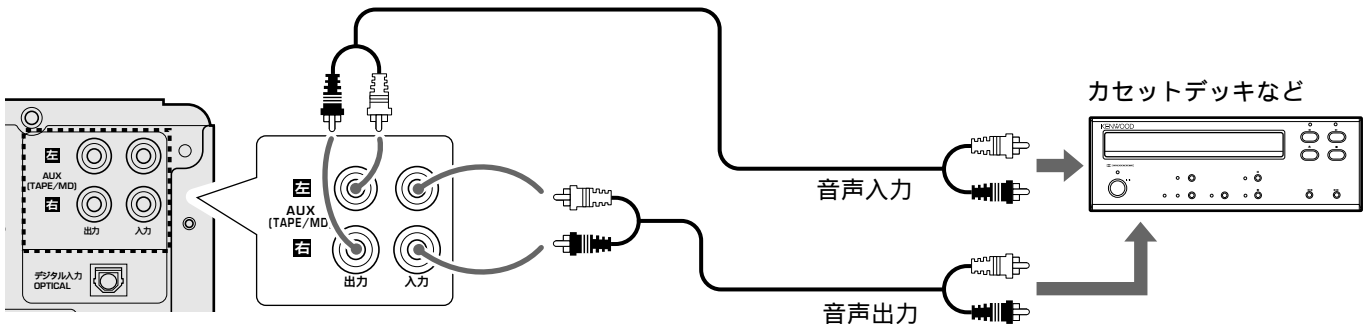
マイコンの誤動作について

正しく接続したのに動作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、"故障かな？と思ったら..."を参照してマイコンをリセットしてください。 ➞84

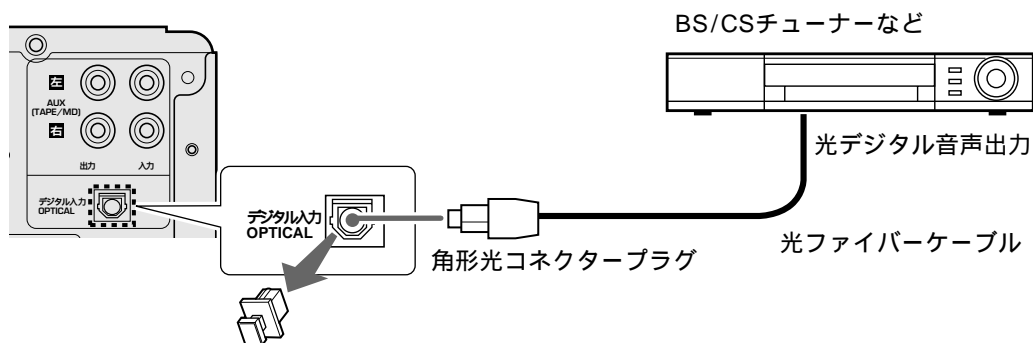
スーパーウーファー(SW-1010)(別売)との接続

重低音を力強く再生します。

外部ソース(音源)機器との接続

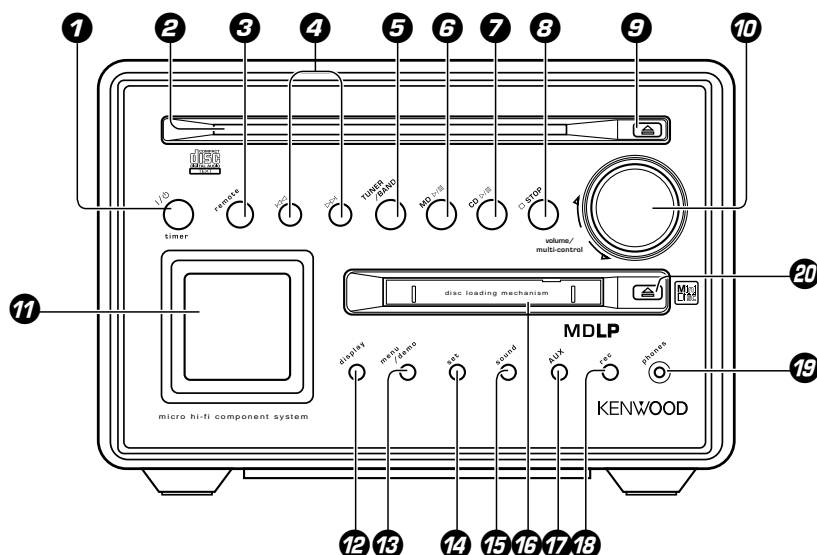
アナログ接続の場合

本機背面のAUX (TAPE/MD)入力 端子を使って、カセットデッキなどを接続することができます。

デジタル接続の場合

本機背面のデジタル入力OPTICAL端子を使って、BS/CSチューナーなどのデジタル機器を接続することができます。

※ 外した保護キャップは必ず保管してください。

1. 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。
2. 角形光コネクタープラグは真っ直ぐに、カチッと音がするまで差し込んでください。
3. デジタル端子を使わないときは、必ず保護キャップを付けておいてください。
4. 光ファイバーケーブルは、絶対に折り曲げたり、束ねたりしないでください。

各部のなまえと働き

本体部

❶ I/⏻/timer(タイマー)キー(インジケーター)キー

電源のオン／オフ(スタンバイ)を切り換えます。 →22 →76 →79

インジケーター

電源オンのとき : 緑色の点灯

電源オフのとき(スタンバイ状態) : 赤色の点灯 →16

タイマースタンバイ状態 : 橙色の点灯 →76

❷ **CD挿入口**

❸ **リモコン受光部(remote(リモート))**

❹ **|◀◀,▶▶|キー**

CD,MD再生中のとき : 再生中の曲のスキップに使います。 →25 →28

放送受信中のとき : プリセットした放送局の選択に使います。 →30

❺ **TUNER(チューナー)/BAND(バンド)キー**

電源オンのとき : 入力がチューナーに切り換わります。 →30

電源オフのとき : システム電源をオンにして、放送を受信します →22

放送受信中のとき : 放送バンドを切り換えます。 →30

❻ **MD ▶/II (再生/一時停止)キー**

電源オンのとき : 入力がMDに切り換わります。 →27

電源オフのとき : システム電源をオンにして、MDを再生します。 →22

MD入力のとき : 再生/一時停止に使います。 →27
OPTICAL(オプティカル)入力端子に接続した入力ソースを再生,録音するときに使います。 →34 →75

❼ **CD ▶/II (再生/一時停止)キー**

電源オンのとき : 入力がCDに切り換わります。 →24

電源オフのとき : システム電源をオンにして、CDを再生をします。 →22

CD入力のとき : 再生/一時停止に使います。 →24

❽ **■ STOP(ストップ)(停止)キー**

電源オフのとき : 5秒間の時計表示をします。 →19

CD,MD再生中のとき : 再生を停止します。 →25 →28

MD録音中のとき : 録音を停止します。 →35

❾ **CD取出しキー(⏏)**

CDを取り出すときに使います。キーが点灯しているときは、ディスクが挿入されている状態です。

❿ **volume(ボリューム)/multi(マルチ)-control(コントロール)つまみ**

通常は、音量の調節に使います。また、各種設定の選択、タイマー予約、時刻合わせにも使います。 →19 →20 →21 →22

⓫ **文字情報、キャラクター表示部**

⓬ **display(ディスプレイ)キー**

表示部のグラフィックを切り換えるときに使います。 →18

⓭ **menu(メニュー)/demo(デモ)キー**

各種の設定選択モードおよび、デモモードのオン／オフに使います。 →4 →20

⓮ **set(セット)キー**

電源オンのとき : メニューの設定や確定などに使います。 →19 →20 →21

放送受信中のとき : オートプリセットした放送局名をかえるときに使います。 →31

⓯ **sound(サウンド)キー**

音質を調整するときに使います。 →23

⓰ **MD挿入口**

⓱ **外部入力キー(AUX)**

AUX(アナログ入力端子)に接続した入力ソースを再生,録音するときに使います。 →34 →75

⓲ **rec(レコーディング)キー**

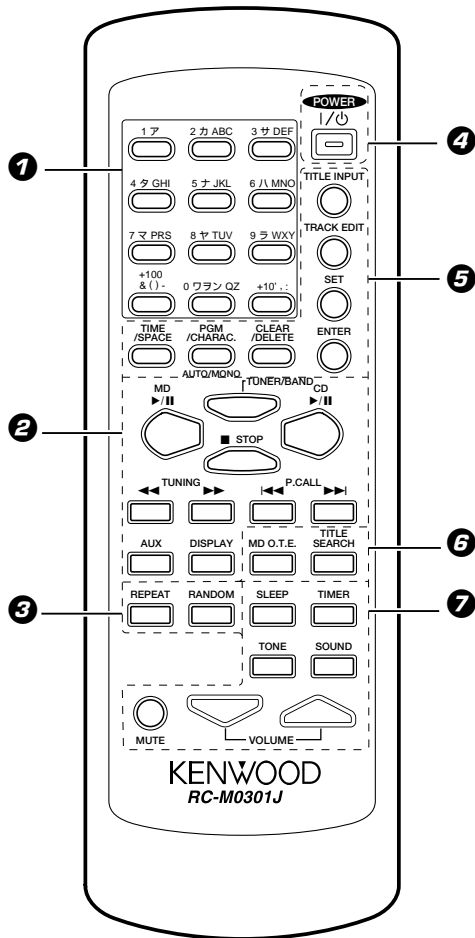
MDに録音するときに使います。 →35

⓳ **phones(ホンズ)端子**

ステレオミニプラグのヘッドホン(別売)を接続します。 →23

⓴ **MD取出しキー(⏏)**

MDを取り出すときに使います。キーが点灯しているときは、ディスクが挿入されている状態です。

リモコン部

型名:RC-M0301J
赤外線方式

❶ 数字、文字入力キー

CD,MD入力のとき ： 数字キーとして使います。 →25 →28

放送受信中のとき ： 放送局を呼び出すときまたはプリセットするときに使います。 →30 →33

MDタイトル入力のとき
： 文字や記号の選択に使います。 →67

❷ 基本操作キー

TUNER/BANDキー

入力をチューナーに切り換えます。 →30

放送バンドを切り換えます。 →30

MD ►/II (再生/一時停止)キー →22 →27

CD ►/II (再生/一時停止)キー →22 →24

■ STOP(停止)キー

電源オフのとき ： 5秒間の時計表示をします。→19

CD,MD再生中のとき： 再生を停止します。→25 →28

MD録音中のとき ： 録音を停止します。 →35

I◄◄, ►►Iキー

CD,MD再生中のとき ： 再生中の曲のスキップに使います。 →25 →28

放送受信中のとき ： プリセットした放送局の選択に使います。 →30

◄◄, ►►キー

CD,MD再生中のとき ：再生中の曲の早送り、早戻しに使います。 →25 →28

放送受信中のとき ：放送局の選択に使います。→33

外部入力キー(AUX)

AUX(アナログ入力端子)に接続した入力ソースを再生／録音するときに使います。 →34 →75

DISPLAYキー

表示部のグラフィックを切り換えるときに使います。 →18

❸ CD/MD再生関連キー

REPEATキー

CD,MDをくり返し再生するときに使います。 →42

RANDOMキー

CD,MDの曲順を順不同に再生します。 →43

❹ POWER (I/⏻) キー →22 →76 →79

❺ MD編集関連キー

TITLE INPUTキー

MDにタイトル入力をするときに使います。 →66

TRACK EDITキー

MDの曲を編集するとき、曲の入れ替え、消去などに使います。 →54 →56 →58 →60 →62 →64 →65

SETキー

CD,MDのとき ：PGMの設定や確定などに使います。 →40 →54

放送受信中のとき ：オートプリセットした放送局名をかえるときに使います。 →31

ENTERキー

MDのとき ：MD編集や入力したタイトルの確定などに使います。→29 →54 →57 →59 →61 →62 →63 →64 →65 →69

放送受信中のとき ：マニュアルプリセットの確定に使います。 →33

スタンバイ状態について

本体部のスタンバイインジケーターが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。このとき、リモコンで本機をオンできます。

TIME/SPACEキー

CD,MDのとき : タイトル表示や、再生／録音時間表示を切り換えるときおよびMD編集のとき1文字分の空白を入れます。 →26 →28 →67
文字スクロールの速度をかえるときに使います。 →21

放送受信中のとき : 周波数表示と局名表示を切り換えるときに使います。 →31

PGM/CHARAC.(AUTO／MONO)キー

CD,MDのとき : プログラム再生および入力文字グループの選択に使います。 →40 →67 →68

放送受信中のとき : 選局方法を選ぶときに使います。 →33

CLEAR/DELETEキー

プログラムや入力文字の取り消しに使います。 →41 →67 →69

❻ MD関連キー

TITLE SEARCHキー

MDの曲をタイトルから探すときに使います。 →29

MD O.T.E.キー

CD再生中に押すと再生中の曲だけを、CD停止中押すと、CD全曲をMDにワンタッチで録音します。 →50 →51

❼ タイマー、音質関連キー

TIMERキー

各種タイマーの実行、解除するときに使います。 →76

SLEEPキー

SLEEP(おやすみ)タイマーを設定するときに使います。 →80

SOUNDキー

S.DIRECT, **N.B.1**, **N.B.2**, および**TONE**を選ぶときに使います。 →23

TONEキー

低音、高音の調整に使います。 →23

VOLUMEキー

音量, 音質の調整に使います。 →22 →23

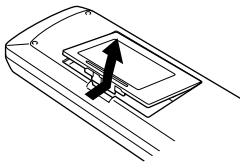
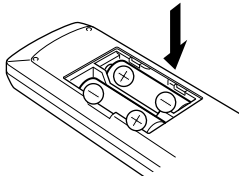
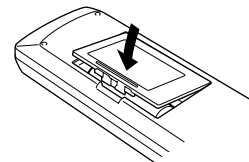
MUTEキー

一時的に音を消すときに使います。 →23

準備編

リモコンの使いかた

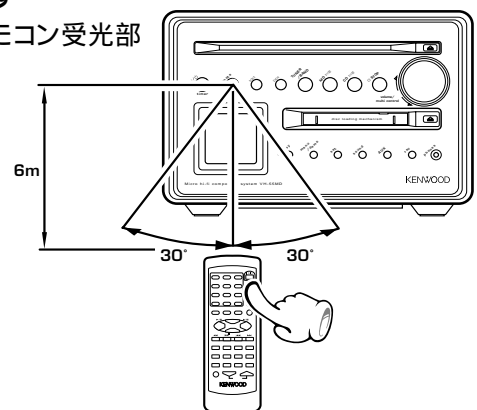
電池の入れかた

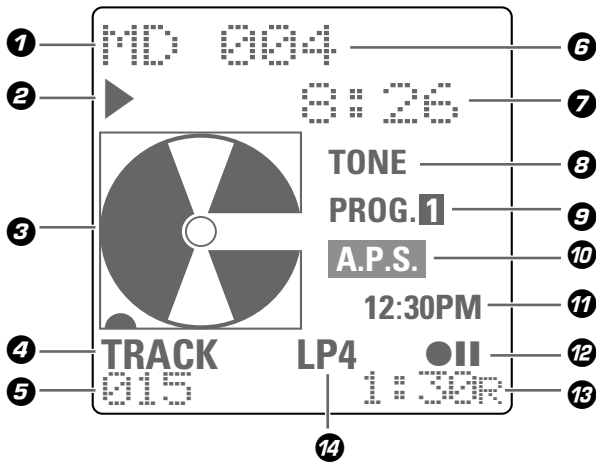
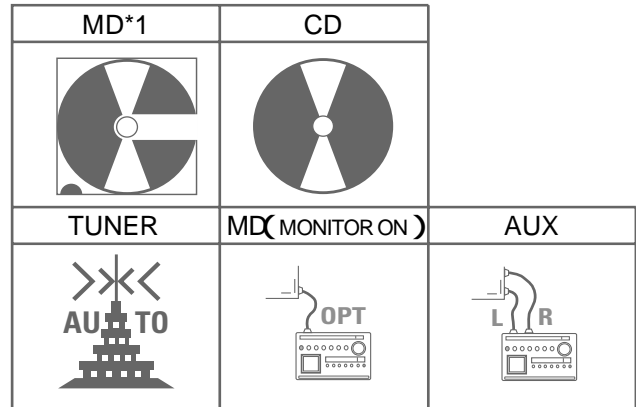
❶ カバーを開く

❷ 電池を入れる

❸ カバーを閉める

● 単三乾電池2個を極性マークに従って入れる。

操作のしかた

電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの I／⏻ POWER キーを押すと、電源がオンになります。電源がオン になったら、操作したいキーを押します。

● リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。

操作範囲のめやす

1. 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがありますのでご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

表示部

グラフィック表示

❶ 入力ソース表示
（MD, CD, FM, AM, AUX）

❷ 再生(►)／一時停止表示（❚❚）

❸ グラフィック表示

❹ 再生／受信関連表示
（TRACK,PROGRAM,RANDOM,STEREO）

❺ MDの総曲数

❻ 再生中の曲番号

❼ 文字情報表示部表示
（再生時間、タイトル表示など）

❽ 音質関連表示
（S.DIRECT, N.B.1,N.B.2, TONE）

❾ タイマー関連表示
（O.T.T.,PROG.1, PROG.2）

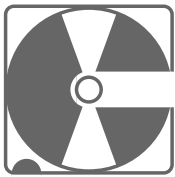
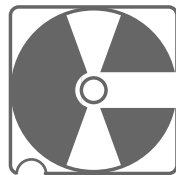
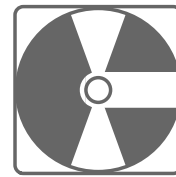
❿ オートパワーセーブ表示（A.P.S.）

⓫ 時刻表示

⓬ MD録音（●）／一時停止表示（❚❚）

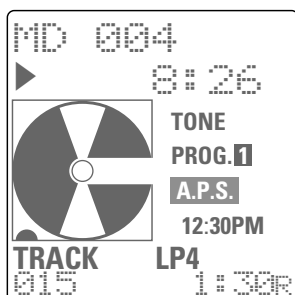
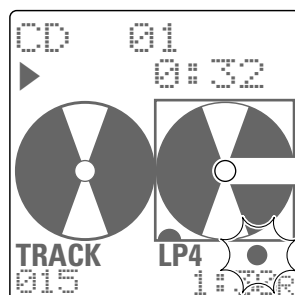
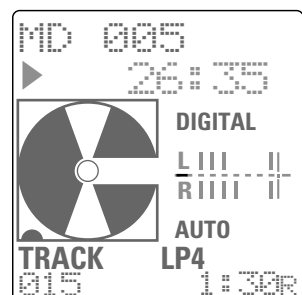
⓭ MD録音可能残り時間表示

⓮ REC MODE表示
（LP2, LP4, MONO）

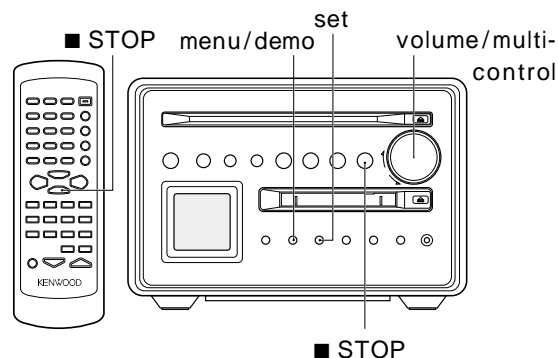
*1 MD挿入時の表示について

録音可能なミニディスク

録音禁止されているミニディスク

再生専用ミニディスク

DISPLAYキーについて

DISPLAYキーを押すたびにグラフィック表示が切り換わります（表示の例）

通常表示

グラフィック表示

レベルメータ表示

時刻合わせ

本機には、時計機能がついています。タイマー機能を使う前に必ず正確な時刻を合わせてください。

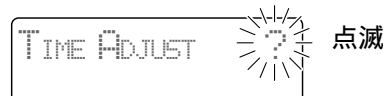
タイマー設定後、電源がオフ(スタンバイ)中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、I/⏻/timerインジケーターが橙色に点滅します。この場合はもう一度時刻合わせをやり直してください。

電源をオンにする

1 時刻合わせモードにする

❶ menu/demoキーを押す

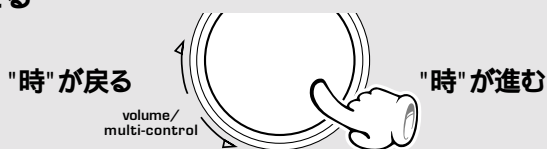
❷ volume/multi-control つまみを回して "TIME ADJUST ?" を選び set キーを押す

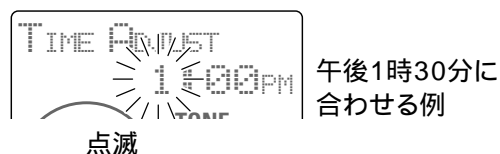
❸ volume/multi-controlつまみを回して"12 HOUR"または"24 HOUR"を選びsetキーを押す

❷ "TIME ADJUST ?"を選ぶ

❸ 表示モードを選ぶ

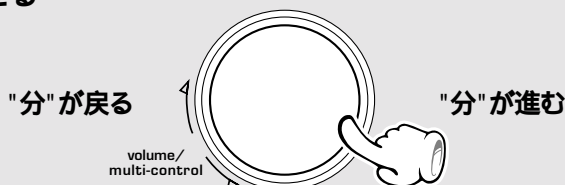
- 時刻は12時間または24時間表示で表示されます。

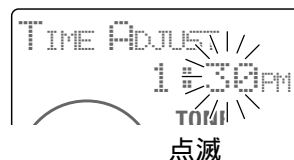
2 時間を合わせる

❶ volume/multi-controlつまみを回して"時"を合わせる

❷ setキーを押す

❶ 時を調整

- 時間表示が点滅を始めます。
- setキーを押すと時間が設定されて、分表示が点滅します。

3 分を合わせる

❶ volume/multi-controlつまみを回して"分"を合わせる

❷ setキーを押す

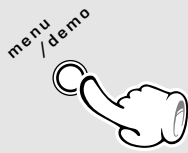
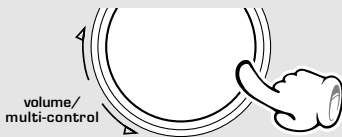
❶ 分を調整

- 間違えて押したときは、menu/demoキーを押して最初からやり直してください。
- 時報と同時にsetキーを押すと正確に時刻を設定することができます。

電源オフのとき:

■ STOPキーを押すと5秒間だけ時計表示します。

メニューモードについて

メニューモードの操作

❶ menu/demoキーを押す

❷ 設定したい項目を選ぶ

❸ setキーを押す

❷と❸をくり返し、設定します。

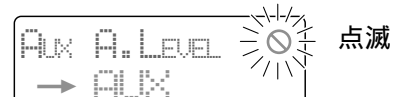
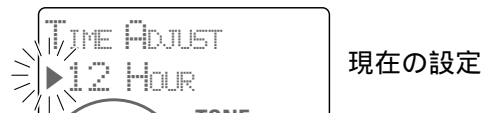
回すと表示が切り換わります。

- "CD→MD O.T.E. ?" … → 46 → 48 → 50
- "REC TNO MARK ?" … → 36
- "REC INPUT ?" … → 36
- "REC MODE ?" … → 37
- "AUX D. LEVEL ?" … → 38 → 75
- "AUX A. LEVEL ?" … → 38 → 75
- "MONITOR ?" … → 36
- "TIMER SET ?" … → 76
- "AUTOPOWERSAVE ?" … → 20
- "TIME ADJUST ?" … → 19
- "AUTO PRESET ?" … → 31
- "CONTRAST ?" … → 21
- "BACK LIGHT ?" … → 21
- "BALANCE ?" … → 23

● 操作中に約20秒放置すると設定モードはキャンセルされます。

メニューモードの表示について

● メニューモードを操作するときの状態によっては、選べない項目があります。そのときは"⃠"が点滅します。そのままsetキーを押すと原因が表示されます。

点滅

"AUX A. LEVEL"は入力切り換えが"AUX"でないと操作できません。入力切り換えを"AUX"にしてください。

● 今現在の設定内容は"▶"で表示され、選択項目は"＞"で表示されます。

現在の設定

選択項目

オートパワーセーブ機能について (Auto Power Save=A.P.S.)

電源がオンで、録音も再生もしていない状態のとき、約30分以上放置すると自動的に電源がオフ(スタンバイ)になる機能です。次の操作で、使う(ON)/使わない(OFF)を選びます。

❶ menu/demoキーを押す
❷ volume/multi-controlつまみを回して"AUTO POWER SAVE ?"を選びsetキーを押す
❸ volume/multi-controlつまみを回して、"ON"または"OFF"を選び、setキーを押す

● ソース(音源)がTUNERまたはAUXの場合、音量が"0"のときに限りオートパワーセーブが働きます。
● この機能が働いているときは、表示部に"A.P.S."が点灯します。

点滅

点灯

準備編

表示部のコントラストの調整について (CONTRAST)

本機の表示部のコントラストをお好みによって切り換えることができます。

- 本機を設置した場所、周辺の気温等で表示が見えにくい場合に調整してください。

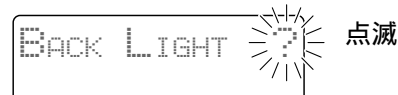
❶menu/demoキーを押す
❷volume/multi-controlつまみを回して"CON-TRAST ?"を選びsetキーを押す
❸volume/multi-controlつまみを回してお好みの明るさ(色の濃さ)を選びsetキーを押す

液晶表示部が見えない(コントラストが明るい/暗い)場合には、本体のdisplayキーを約2秒押してください。コントラストが初期設定値になります。

表示部のバックライトの調整について (BACK LIGHT)

本機の表示部のバックライトの明るさをお好みによって切り換えることができます。

❶menu/demoキーを押す
❷volume/multi-controlつまみを回して"BACK LIGHT ?"を選びsetキーを押す
❸volume/multi-controlつまみを回して"LOW"または"HIGH"を選びsetキーを押す

準備編

表示部のスクロールスピードの調整について

本機の表示部のCDテキストや、MDタイトルなどの文字が見づらい場合お好みによってスクロールスピードを切り換えることができます。

- 本機を設置した場所、周辺の気温等で表示が見えにくい場合に調整してください。

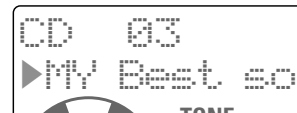
入力切り換えをCDまたはMDに設定します。 →22

❶タイトル表示モードになるまでTIME/SPACEキーを押す

❷TIME/SPACEキーを2秒間押し続ける

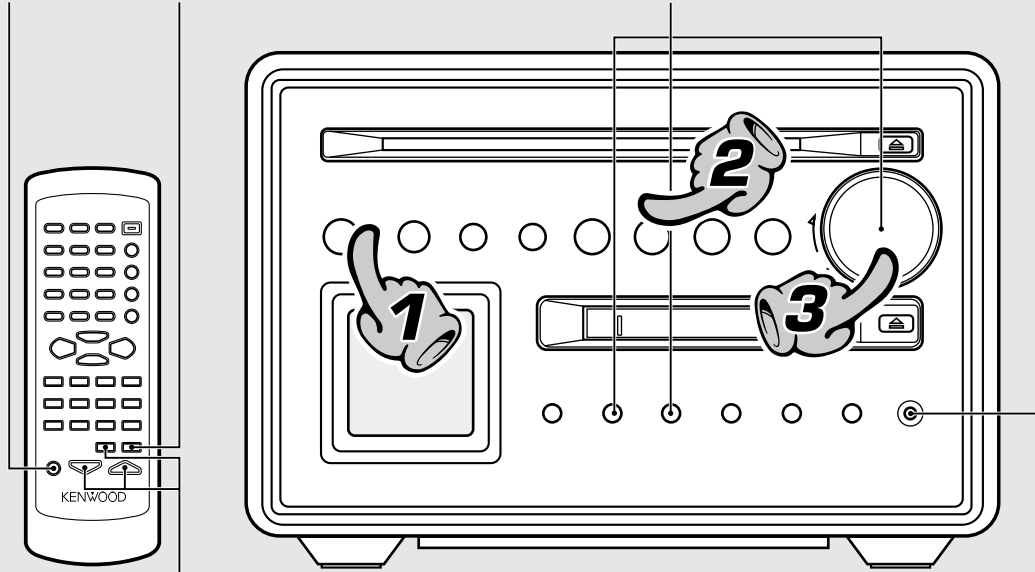
❸お好みのスクロールスピードになるまで手順❷をくり返す。

TIME/SPACEキーを約5秒押すと、スクロールスピードが初期設定値になります。

タイトル表示モード

タイトルがスクロールする

くり返すたびに切り換わります。

"SCROLL FAST +"	**高速(初期設定値)**
"SCROLL MIDDLE"	**中速**
"SCROLL SLOW"	**低速**

音を出してみましょう

1. 電源をオンにする(オフにする)

I/⏻キーを押す

電源がオンのときにI/⏻キーを押すとオフ(スタンバイ)になります。

- 電源をオンにしてから約5秒間は、回路保護の為ミュート(音が出ない)状態になります。
- 電源がオフ(スタンバイ)のとき **CD ▶/II**、**MD ▶/II**、または、**TUNER**(チューナー)/**BAND**(バンド)、**AUX** キーを押すと、電源がオンになり、その入力に切り換わり再生(受信)状態になります。(ワンタッチオペレーション機能)

2. 聴きたいソース(音源)を選ぶ

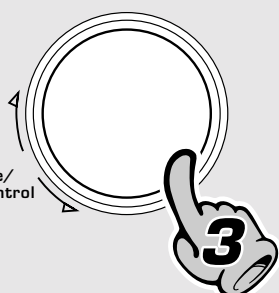
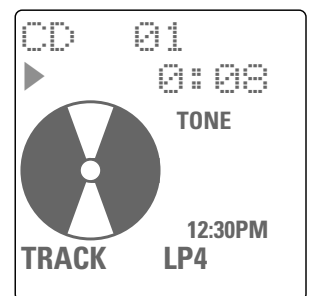
(入力を切り換える)

CDを選ぶ場合

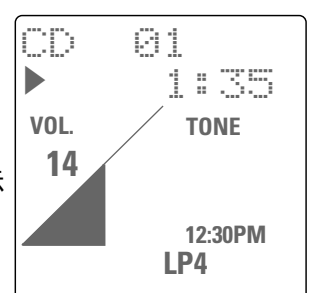
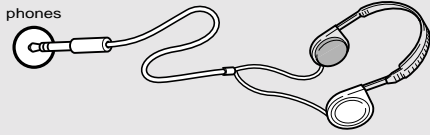
TUNER(ラジオ放送) → 30
CD → 24
MD → 27
AUX → 75

- **CD ▶/II**、**MD ▶/II** を押したとき、すでにディスクが入っている場合は再生が始まります。

CDを選んだとき

CD 01
▶ 0:08
TONE
12:30PM
TRACK LP4

3. 音量を調節する

- リモコンの **VOLUME**(ボリューム) キーでも同様の操作ができます。
- 表示部に目安の数字(**0〜40**)を表示します。

音量の表示

一時的に音を消す（MUTE）

リモコンのみ

点滅

- もう一度押すと、元の音量に戻ります。
- 音量を操作したときも解除されます。

ヘッドホンで聴く

❶ ヘッドホンのプラグをphones端子に差し込む

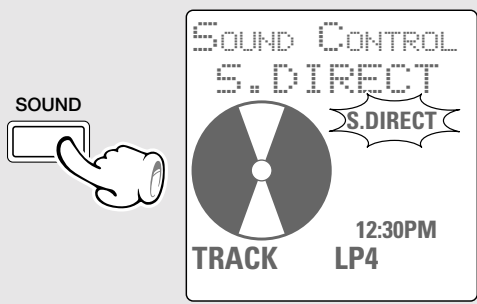
- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用します。
- スピーカーから音が出なくなります。

❷ volume/multi-controlつまみで音量を調節する

音質の調整（リモコンのみ）

低音（BASS）、高音（TREBLE）の調整ができます。調整をした場合はN.B.（ナチュラルバス）効果は解除されます。

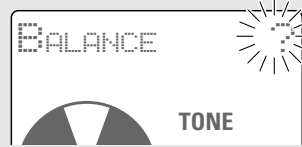
❶ TONEキーを押して"BASS"の設定にする。VOLUMEキーでお好みのレベルを設定してください。

❷ "BASS"表示中にTONEキーを押すと"TREBLE"の設定になります。VOLUMEキーでレベルを設定してください。

❸ TONEキーを押す

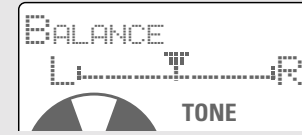
- BASS、TREBLEともに＋4 ～ －4の範囲で調整できます。

低音と高音を補正する（N.B. : Natural Bass circuit）

点灯

押すたびに表示が切り換わります。

① "S.DIRECT" .... CDやMDなどソース（音源）の音を、本機の音質調整回路を通さずに、なるべく原音に忠実に聴くことができます。
② "TONE" .... 音質調整された音を聴くことができます。
③ "N.B.1" .... 低音のみ強調します。
④ "N.B.2" .... 音量に応じて低音と高音を強調します。

バランスの調整

左右のスピーカーの音量バランスを調整します。

❶ menu/demoキーを押す

❷ volume/multi-controlつまみを回して"BALANCE ?"を選びsetキーを押す

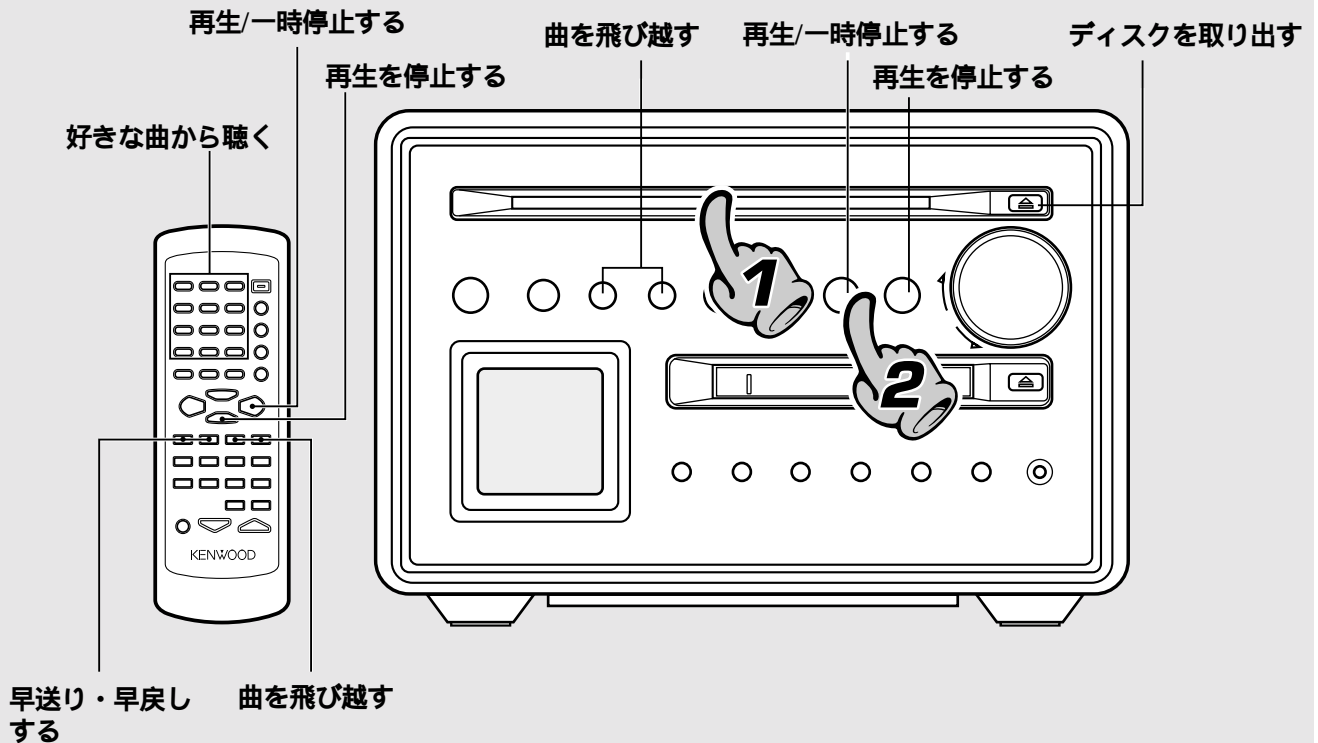
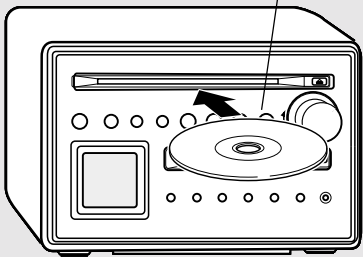
点滅

❸ volume/multi-controlつまみを回して、左右のバランスを調整する。

❹ setキーを押す

- S.DIRECTを選んでいるときは調整できません。

基本編

CDを聴く

ディスクを挿入口に差し込むと自動的に本体へ収納される

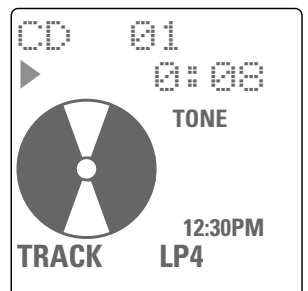
1. ディスクの挿入/排出

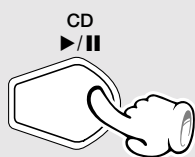
ディスクを取り出すときは▲ キーを押してください。
本機からCDを取り出すときはまっすぐに引き出してください。
ななめに引き出すとCDの再生面を傷つける原因となります。

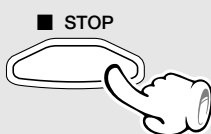
- ８cmCDを使用する際にアダプターは必要ありません。
- ディスクによって(透明なディスク等)、一度で排出できない場合は、そのまま▲ キーを押し続けてください。
- スムーズにディスクが挿入できないときは、軽く押し込むようにすると自動的に挿入されます。

電源がオフ(スタンバイ)状態のときは、CDの出し入れはできません。スタンバイ状態のときに無理にCDを入れないでください。故障の原因となります。

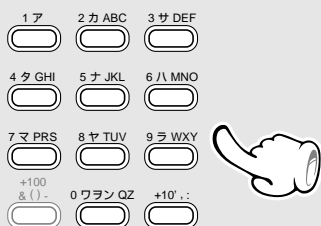
2. 再生をはじめる(入力が"CD"に切り換わります)

再生中の曲番 (上段)
曲の時間表示 (下段)

- 数秒後に1曲目から再生します。

一時停止する

- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。
- グラフィック表示が点滅します。

再生を停止する

好きな曲から聴く

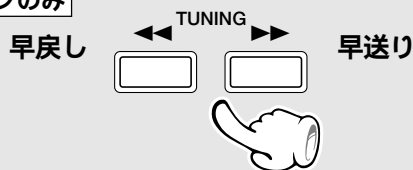
リモコンのみ

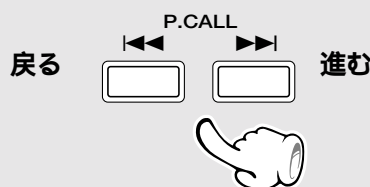
曲を選ぶ

数字キーを押す順序は

12曲目なら .... +10, 2

20曲目なら .... +10, +10, 0

早送り・早戻しする

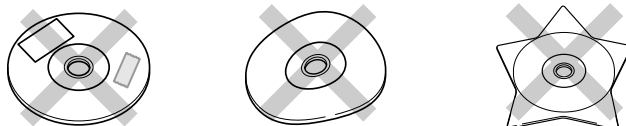
リモコンのみ

- 手を離したところから再生します。

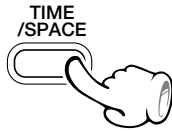
曲を飛び越す

- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に|◀◀キーを押すと、その曲の最初に戻ります。
- さらに手前の曲にスキップするときは素早く|◀◀キーを押します。
- 停止中でも|◀◀, ▶▶|キーを押して曲をスキップすることができます。この場合スキップした後自動的に再生がはじまります。

ディスクを取り出す

ディスクの挿入または、排出中に停止状態になったときは、"PLEASE PUSH EJECT KEY or PLAY KEY"と表示され、▲ キーが点滅します。このときは▲ キーを押してディスクを取り出してください。

- ▲ キーを押すと一旦挿入された後に排出し、**CD ▶/II** キーを押すと、挿入され再生が始まります。

変形CD（星形、ハート形等）、ひび割れがある、大きくそったディスク、ディスク保護のためのスタビライザー等は、ご使用にならないでください。故障の原因となります。

CDプレーヤーの時間表示について (リモコンのみ)

TIME/SPACEキーを押すたびにディスプレイの表示が切り換わります。

- プログラム再生などで､トータル256分以上になると" **- - : - -T**"と表示され時間表示ができません。
- CDテキスト情報表示はCD TEXT対応ディスクではない場合"••••••••••"と表示されます。

CD TEXT 機能について

本機では、CD-TEXT対応のディスクを再生すると、CDに収録されたディスクタイトルと曲のタイトルがアルファベットや数字の場合、自動的に表示されます。CD-TEXT対応のディスクでも表示できないものもあります。

再生を停止する

曲を飛び越す

再生/一時停止する

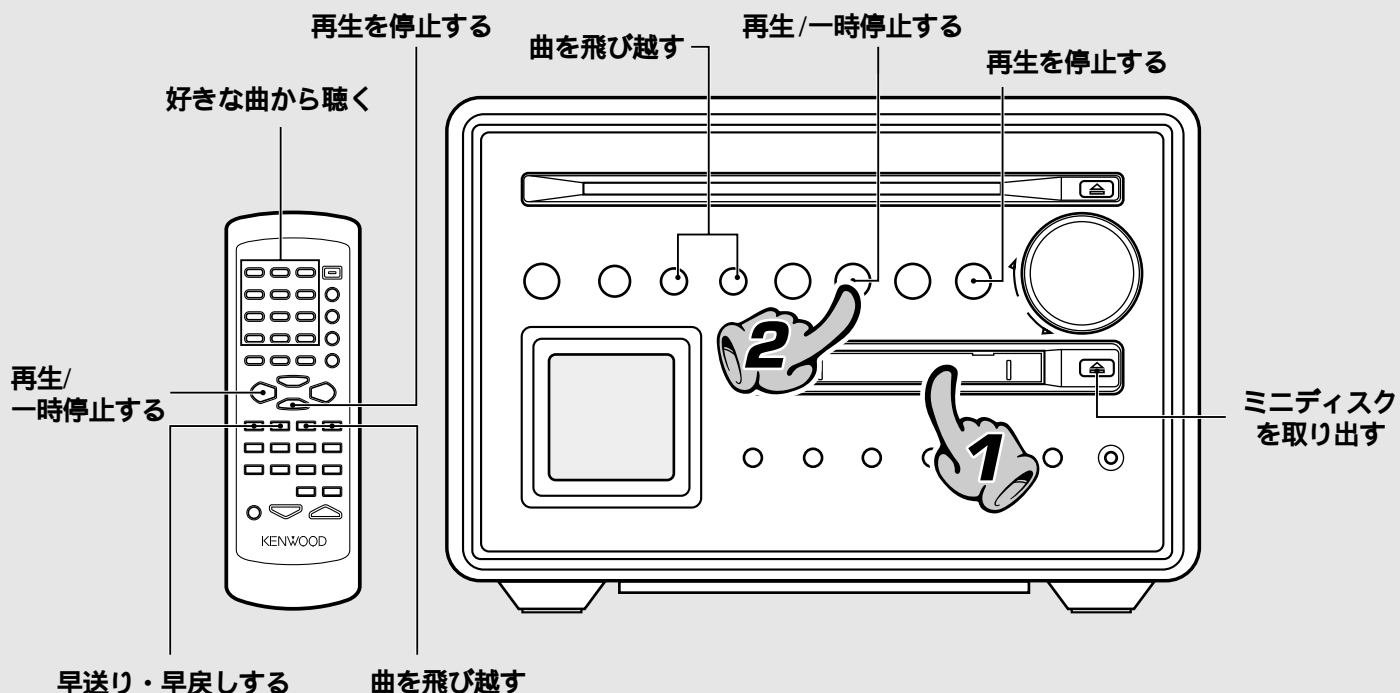
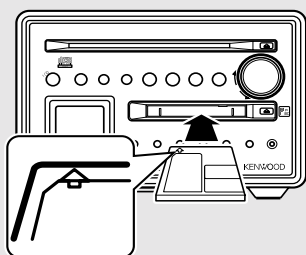
再生を停止する

好きな曲から聴く

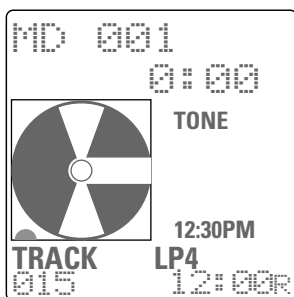
再生/
一時停止する

ミニディスク
を取り出す

早送り・早戻しする

曲を飛び越す

1. ミニディスクを入れる

矢印の方向に入れる

- ミニディスクを本機の挿入口へ確実に差し込んでください。
- ミニディスクが挿入されるとディスクインジケーター(⏏)が点灯します。
- "READING"(リーディング)が表示され、ミニディスクの内容を調べます。
- ミニディスクにタイトルが記録されているときは、タイトルを表示します。

電源がオフ(スタンバイ)状態のときは、ミニディスクの出し入れはできません。スタンバイ状態のときに無理にミニディスクを入れないでください。故障の原因となります。

2. 再生をはじめる(入力が"MD"に切り換わります)

- 数秒後に1曲目から再生します。

→ 37

一時停止する

- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。
- グラフィック表示が点滅します。

再生を停止する

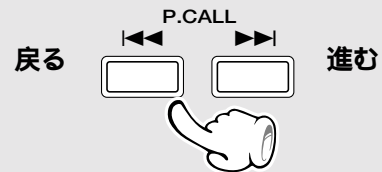
好きな曲から聴く

曲を選ぶ

数字キーを押す順序は
12曲目なら .... +10, 2
20曲目なら .... +10, +10, 0

早送り・早戻しする

- 手を離したところから再生します。
- 一時停止中の早送り、早戻しは高速となり音が出ません。

曲を飛び越す

- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に|◀◀キーを押すと、その曲の最初に戻ります。
- さらに手前の曲にスキップするときは素早く|◀◀キーを押します。
- 停止中でも|◀◀, ▶▶|キーを押して曲をスキップすることができます。この場合スキップした後自動的に再生がはじまります。

ミニディスクを取り出す

- ミニディスクを、取り出したまま、挿入口に放置しないでください。

MDの時間表示について (リモコンのみ)

TIME/SPACE(タイム スペース)キーを押すたびにディスプレイの表示が切り換わります。

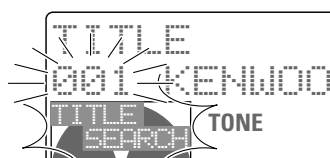
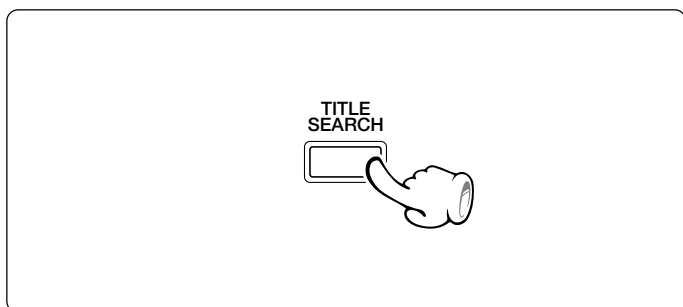
- プログラム再生などで、トータル1000分以上になると"- - - : - -T"と表示され時間表示ができません。
- タイトルの入力されてない曲は、トラック番号と"••••••••••"と表示されます。

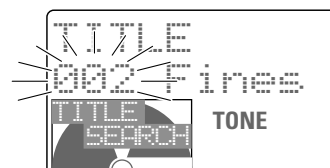
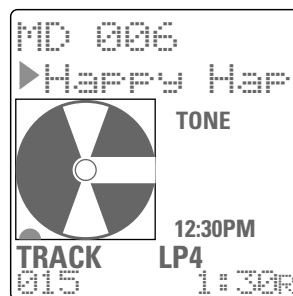
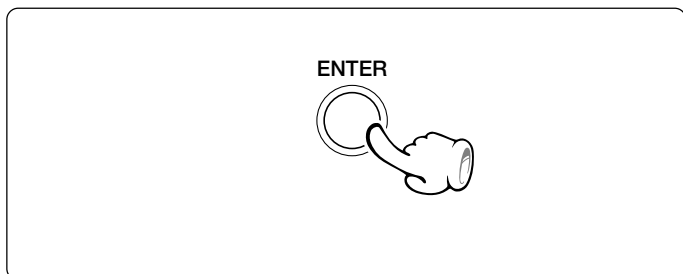
聴きたい曲をタイトルで探す (TITLE SEARCH)

**タイトルが付いているミニディスクであれば聴きたい曲をタイトルから探すことができます。
録音用ミニディスクの場合、ミニディスクに収録されている曲の名前(タイトル)をあらかじめつけておく(→66)と、聴きたい曲をタイトルから探すことができます。**

編集機能を使用するときはPGM/CHARAC.キーを押して"TRACK"を点灯させてください。

入力切り換えを"MD"にする →27

1 TITLE SEARCHキーを押す

- タイトルの入力されていない曲は、トラック番号と"•••••••"が表示されます。

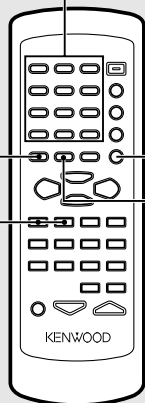
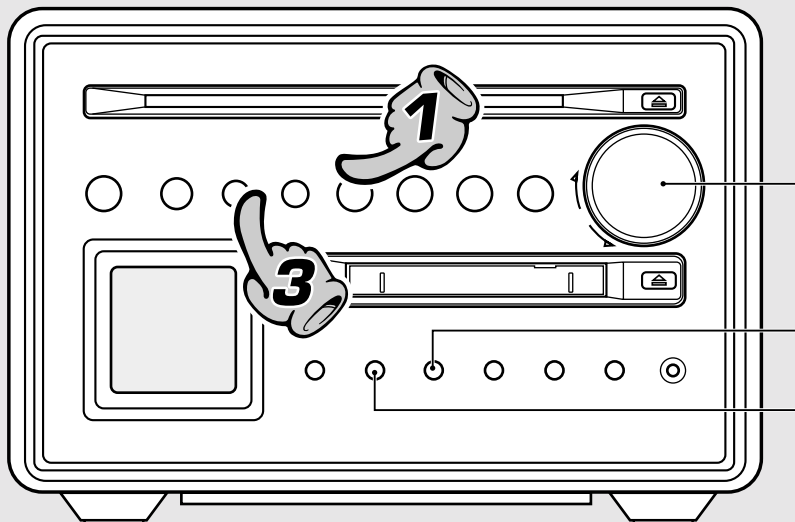
2 聴きたい曲名（タイトル）を選ぶ

中止するときは、もう一度TITLE SEARCHキーを押します

再生される曲

文字が左へ流れます

- 数字キーでも選べます。

3 再生を始める

文字が左へ流れます

ラジオ放送を聴く

1. 入力をチューナーにする

TUNER/BANDキー押すたびに切り換わります。

FM
AM

2. 放送局を記憶させる

放送局を自動的に記憶させる（オートプリセット） →31

お住まいの都道府県名を設定すると、お住まいの近くで受信できる放送局が自動的にプリセット（記憶）されます。これらの 放送局を受信すると、放送局名を（FM 放送のみ）表示します。

- 一度オートプリセットで記憶させておくと、転居される場合や改めて全局記憶させる場合を除き、次回からオートプリセットする必要はありません。

放送局を1局ずつ記憶させる（マニュアルプリセット） →33

放送局を記憶させなくても選局できます。詳しくは"**記憶させていない放送局を聴く（オート選局、マニュアル選局）**"をお読みください。 →33

3. 放送局を呼び出す（プリセットコール）

- **オートプリセットまたはマニュアルプリセットで放送局を記憶させている場合、⏮ または ⏭を押して選局します。押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。**

⏭ を押すと
1 → 2 → 3 ..... 38 → 39 → 40 → 1 .....
⏮ を押すと
40 → 39 → 38 ..... 3 → 2 → 1 → 40.....

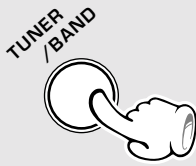
- **リモコンでは、⏮、⏭キーあるいは数字キーを押して選局します。**

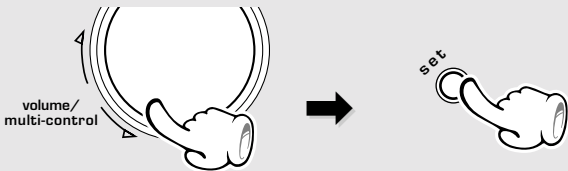
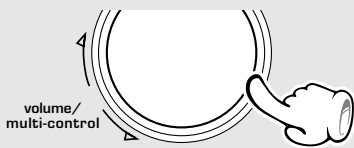
数字キーを押す順序は
12番目なら .... +10, 2　　20番目なら .... +10, +10, 0

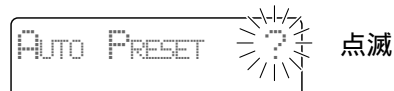
受信すると"**受信表示（>><<）**"が点灯

ステレオ受信時に点灯

放送局を自動的に記憶させる（オートプリセット）（エリア別FM放送局名自動表示）

❶ TUNER/BAND キーを押して入力をチューナーにする

❷ menu/demo キーを押す

❸ volume/multi-control つまみを回して "AUTO PRESET ?" を選び set キーを押す

❹ volume/multi-control つまみを回して、お住まいの都道府県名を選ぶ

❺ set キーを押す

オートプリセットはFMおよびAMの放送局をあわせて、最大40局まで登録します。
放送局名表示は"エリア別FM放送局名自動表示リスト"→32**に載っているFM放送局のみに対応しています。**

AUTO PRESET ? 点滅

- 現在選択されている都道府県名が表示されます。
- 都道府県名を設定していない場合は、"**ケンメイミセッテイ**"と表示されます。

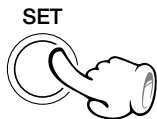
AUTO PRESET
トウキョウ ?
"**トウキョウ**"を選択したとき

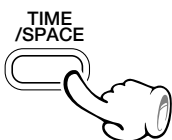
- 都道府県名は、アイウエオ順に並んでいます。
- 都道府県名を設定したときは、"**エリア別FM放送局名自動表示リスト**"に従ってオートプリセットされます。 →32

点滅

- "**AUTO PRESET**"表示が点滅して順次FM局をメモリーして、次にAM局をメモリーします。
- リスト以外の放送局は、マニュアルプリセットしてください。
- 受信中の周波数の放送局名が設定されていない場合、および"**受信表示（＞＜）**"が点灯していない場合は、放送局名は表示しません。 →30
- オートプリセットが終ると、一番最初にオートプリセットした放送局名が表示されます。
- プリセットされている局は書き換えられます。

希望の放送局名が表示されないとき

放送地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されていないときは、SETキーを押して隣接する地域（都道府県）のリストにある別の放送局名にかえることができます。押す度に切り換わります。隣接する地域（都道府県）に該当する放送局がない場合は切り換わりません。

ディスプレイ表示の切り換えについて（リモコンのみ）

オートプリセットしたFM局の表示を切り換えます。

TIME/SPACEキーを押すたびに切り換わります

受信バンド・放送局名
FM P03
J-WAVE

受信バンド・周波数
FM P03
81.30MHz

基本編

エリア別FM放送局名自動表示リスト

2000年 4月現在

地方	放送局	表示名
全国ネット	NHK - FM	NHK - FM
北海道地方	エフエム北海道	AIR - G ’
	エフエム・ノースウェーブ	north wave
東北地方	エフエム青森	FMアオモリ
	エフエム岩手	FMイワテ
	エフエム仙台	Date fm
	エフエム秋田	Co - much FM
	エフエム山形	FMヤマガタ
	エフエム福島	フクシマFM
関東地方	エフエム東京	TOKYO FM
	エフエムジャパン	J - WAVE
	エフエムインターウェーブ	InterFM
	放送大学	ホウソウダイガク
	エフエム群馬	FMグンマ
	エフエム栃木	RADIO BER.
	エフエム埼玉	NACK5
	エフエムサウンド千葉	bayfm
	横浜エフエム放送	Fm ヨコハマ
	エフエム富士	FM-FUJI
中部地方	エフエムラジオ新潟	FMニイガタ
	長野エフエム放送	FMナガノ
	北日本放送	KNBラジオ
	富山エフエム放送	FMトヤマ
	エフエム石川	FM イシカワ
	福井エフエム放送	FMフクイ
	静岡エフエム放送	K・MIX
中部地方	エフエム愛知	FM AICHI
	エフエム名古屋	ZIP - FM
	愛知国際放送	RADIO-i
近畿地方	三重エフエム放送	FMミエ
	エフエム京都	アルファSt.
	エフエム滋賀	E - Radio
	エフエム大阪	fm osaka
	エフエムはちまるに	FM802
	関西インターメディア	FM COCOLO
	兵庫エフエムラジオ放送	Kiss - FM
中国・四国地方	エフエム山陰	V - air
	岡山エフエム放送	FMオカヤマ
	広島エフエム放送	ヒロシマFM
	エフエム山口	FMヤマグチ
	エフエム徳島	FMトクシマ
	エフエム香川	FMカガワ
	エフエム愛媛	FMエヒメ
	エフエム高知	FM KOCHI
九州・沖縄地方	エフエム福岡	FM FUKUOKA
	エフエム九州	CROSS FM
	エフエム佐賀	FMサガ
	エフエム長崎	SMILE-FM
	エフエム中九州	FMK
	エフエム大分	FM OITA
	エフエム宮崎	JOY - FM
	エフエム鹿児島	ミューFM
	エフエム沖縄	FM Okinawa
	NHK 第一	NHKラジオ 1
	FEN 沖縄	FEN オキナワ
	九州国際エフエム	Love FM

記憶させていない放送局を聴く(オート選局、マニュアル選局)

電波の強弱の状態により選局モードを選びます。

電波の状態が良いとき　：オート選局モード
電波が弱く雑音が多いとき　：マニュアル選局モード

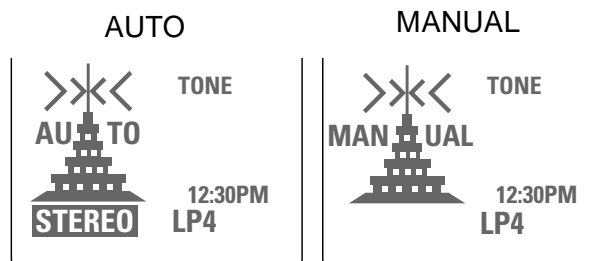
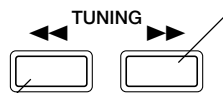
● FM放送はマニュアル選局モード時、モノラル受信となります。

❶ オート選局とマニュアル選局を切り換える(リモコンのみ)

押すたびに切り換わります。
① オート選局　"AUTO" 点灯
② マニュアル選局　"MANUAL" 点灯
(通常はオート選局にしておきます。)

AUTO　MANUAL

TONE
AU TO
12:30PM
STEREO LP4

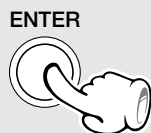
TONE
MAN UAL
12:30PM
LP4

❷ 選局をする

オート選局のとき:
キーを押すごとに次々に受信します。
マニュアル選局のとき:
希望する放送局を受信するまで 押す。

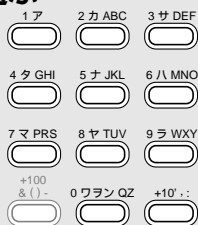
放送局を1局ずつ記憶させる(マニュアルプリセット)

❶ "記憶させていない放送局を聴く"の手順を行なって記憶させたい放送局を受信する

❷ 受信中にリモコンのENTER(エンター)キーを押す

点滅

❸ リモコンの数字キーで1〜40までのプリセット番号を任意に選ぶ

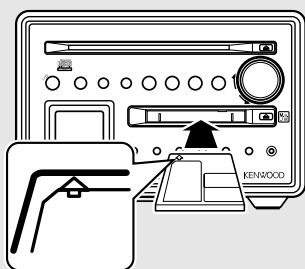
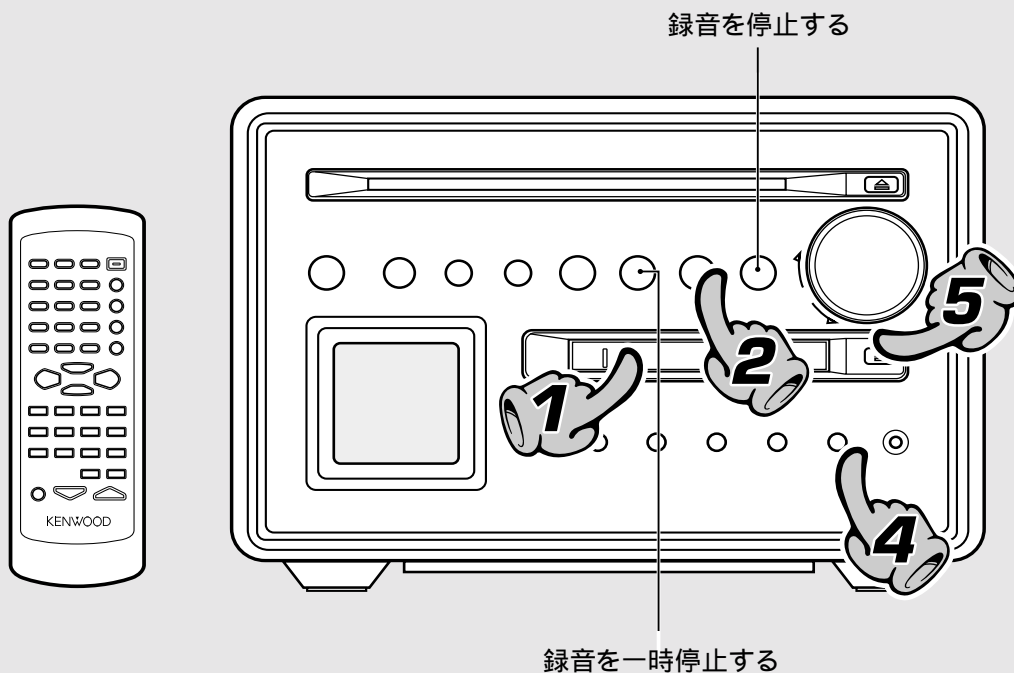
数字キーを押す順序は
12番目なら .... +10, 2
20番目なら .... +10, +10, 0

❹ ENTER(エンター)キーを押す

● プリセットを続けるときは、手順❶〜❹を繰り返します。
● 同じ番号を重ねて記憶させると、新しい設定内容に変更されます。

点灯

操作中に約20秒放置すると、プリセットは中止されます。

基本編

MDに録音する

1. 録音の準備をする

矢印の方向に入れる

❶ 録音用ミニディスクの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする
❷ 録音用ミニディスクを入れる

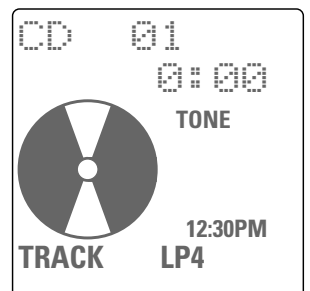
電源がオフ（スタンバイ）状態のときは、ミニディスクの出し入れはできません。スタンバイ状態のときに無理にミニディスクを入れないでください。故障の原因となります。

2. 録音するソース（音源）を選ぶ

CDを選ぶ場合

TUNER（チューナー）（ラジオ放送）	：TUNER（チューナー）/BAND（バンド）キーを押す
CD	：CD ▶/ⅡキーⅡを押す
AUX（アナログ入力）	：AUXキーを押す
デジタル入力（OPTICAL）	：MD ▶/Ⅱキーを押す

- **CD ▶/Ⅱ**または、**MD ▶/Ⅱ**を押した場合、すでにディスクがセットされているときは、再生が始まりますので ■ **STOP**（ストップ） キーを押して停止させてください。
- **デジタル入力（OPTICAL）**を選んだ場合、メニューモードの**MONITOR**（モニター）モードを**"ON"**にしないと音声が聞こえません。 →36

選ばれた録音するソースが表示されます。

CD-TEXTが記録されているCDの場合、TEXTデータはコピーされません。

3. 録音の準備をする

TUNER(ラジオ放送) : 選局する
CD : 録音したい曲(トラック)のはじめで再生一時停止にする
AUX(アナログ入力) : 受信や再生などの準備をする →75
デジタル入力(OPTICAL)
: メニューモードのMONITORモードを"ON"してから受信や再生などの準備をする →36 →75

- 最大で通常の4倍の長時間録音をすることができます。必要に応じて選んでください。(**REC MODE**) →37
- CDのときはデジタルまたはアナログ録音を選ぶことができます。必要に応じて選んでください。(**REC INPUT**) →36
- 外部入力ソースの録音は入力レベルを調節することができます。必要に応じて調節してください。(**AUX D. LEVEL/AUX A. LEVEL**) →38
- MDの録音はトラック番号の付きかたを選ぶことができます。必要に応じて選んでください。(**REC TNO MARK**) →36

4. 録音を始める

❶ **recキーを押す(録音一時停止状態になります)**
❷ **準備ができていれば、再度recキーを押す(録音がはじまります)**
- ソースがCDのとき**CD ▶/❚❚**キーを押すと同時にMDの録音が始まります。(シンクロ録音)

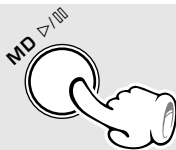
❸ **ソース(音源)の再生を始める**

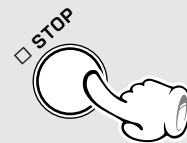
- "SCMS"によりデジタル録音できないときがあります。 →39

5. 録音終了後、ミニディスクを取り出す

- 録音が終わったら、必ずミニディスクを取り出してください。"**WRITING**"表示中に録音情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。

"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

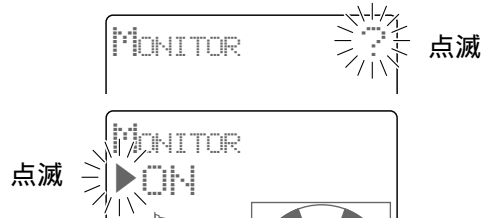
録音を一時停止する

- 録音一時停止状態からもう一度キーを押すと、その時点から録音を再開します。このときトラック番号は"**1**"繰り上がります。
- **rec**キーを押しても録音が始められます。
- CD録音中のみ**CD ▶/❚❚**キーを押すと録音とCD再生を一時停止することができます。CD再生と録音を再開させるにはもう一度**CD ▶/❚❚**キーを押します。

録音を停止する

- CD録音のときは、CDも停止します。(シンクロ機能)

基本編

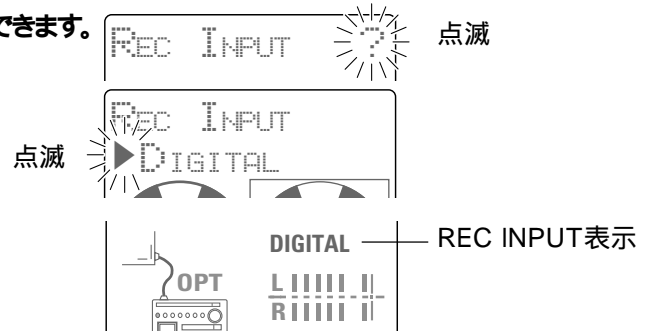
MONITORモードをONする(外部デジタル機器)(MONITOR)

外部デジタル機器の音声を聴く(モニターする)ときは入力切り換えを"MD"にして下さい。
入力レベルメーターを表示させるときにも使います。

❶ **menu/demoキーを押す**
❷ **volume/multi-controlつまみを回して"MONITOR ?"を選びsetキーを押す**
❸ **volume/multi-controlつまみを回して"ON"を選びsetキーを押す**

● MDの"**READING**"中、"**WRITING**"中はモニターしている音声は聴こえません。

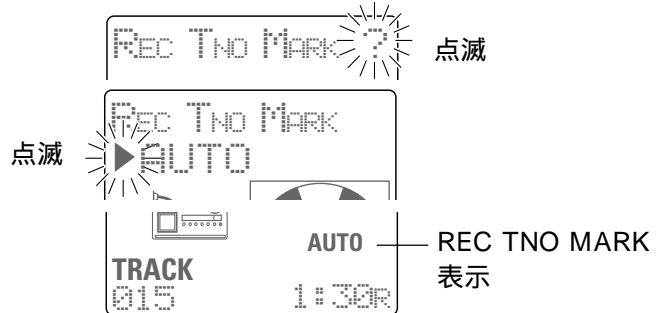
CDの録音形式(デジタル/アナログ)を選ぶ(REC INPUT)

CDのデジタル録音とアナログ録音を必要に合わせて選ぶことができます。

❶ **menu/demoキーを押す**
❷ **volume/multi-controlつまみを回して"REC INPUT ?"を選びsetキーを押す**
❸ **volume/multi-controlつまみを回して"DIGITAL"または"ANALOG"を選び、setキーを押す**

MD録音のトラック番号について(REC TNO MARK)

"REC TNO MARK"表示のとき、setキーを操作すると録音時、トラック番号を自動的に付けて録音するか、録音中または録音後手動でトラック番号を付けるかを設定する表示になります。このとき、volume/multi-controlつまみで設定し、setキーで確定します。初期設定は"AUTO"です。トラック番号は再生時、曲の頭出しやプログラムのときなどに使用します。

❶ **menu/demoキーを押す**
❷ **volume/multi-controlつまみを回して"REC TNO MARK ?"を選びsetキーを押す**
❸ **volume/multi-controlつまみを回して"AUTO"または"MANUAL"を選び、setキーを押す**

REC TNO MARK ? 点滅
REC TNO MARK
AUTO 点滅
AUTO — REC TNO MARK表示
TRACK
015 1:30

AUTO:
通常の録音時はこのモードにしておきます。
CDからの録音では、曲の切り換わりに合わせてトラック番号が繰り上がります。
外部入力機器からの録音のとき、入力信号が約2秒一定のレベル以下になって、次にそのレベルを超える信号が入ってくると、トラック番号を自動的に**"1"**繰り上げます。(チューナー録音の場合、信号のノイズ等により、トラック番号が繰り上がらない場合があります。)また、クラシック音楽などで小さい音が続いたとき、トラック番号が**"1"**繰り上がる場合があります。付いてしまったトラック番号は、後で削除できます。(**"曲をつなぐ(COMBINE)"**を操作する→60)このような音楽の場合は、**MANUAL**で録音してください。
CDのデジタル録音のときは、デジタル信号の情報をもとに、トラック番号を自動的に**"1"**繰り上げます。無音の検出はしません。CDの早送り、早戻し中にトラック番号が繰り上がった場合、MDでは正しくトラック番号が繰り上がらない場合があります。
再生側のCDが停止すると、無音のトラックを作ることがあります。

MANUAL:

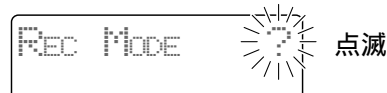
自動的にトラック番号を繰り上げない状態で録音します。録音中(**TRACK EDIT**キーを押す)、または録音後(**"曲を分ける(DIVIDE)"**を操作する→58)、トラック番号を付けることができます。
ライブ演奏や極端にレベルの低い音が続くクラシック音楽などのディスクを録音するときなどに便利です。

長時間録音をする(REC MODE)

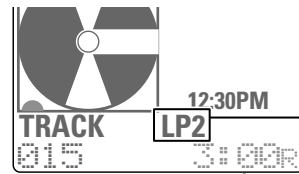
必要に合わせて録音モード(REC MODE)をかえることができます。(停止中のみ)

❶ menu/demoキーを押す

❷ volume/multi-controlつまみを回して"REC MODE ?"を選びsetキーを押す

❸ volume/multi-controlつまみを回して録音したいモードを選び、setキーを押す

- STEREO .... ステレオ録音モード
- LP2 .... ステレオ2倍長時間録音モード
- LP4 .... ステレオ4倍長時間録音モード
- MONO .... モノラル録音モード

REC MODE(録音モード)	圧縮方式	最長録音時間(80分MD使用時)	REC MODE表示*
STEREO(ステレオ録音モード)	ATRAC	約80分	消灯
MONO(モノラル録音モード)		約160分	MONO
LP2(ステレオ2倍長時間録音モード)	ATRAC 3-LP2	約160分	LP2
LP4(ステレオ4倍長時間録音モード)	ATRAC 3-LP4	約320分	LP4

ATRAC：Adaptive TRansform Acoustic Coding

REC MODE表示

* REC MODE表示

録音可能残り時間表示

- REC MODE表示は停止中または録音中は、設定されているモードを表示します。再生中はその曲の録音モードを表示します。
- 録音可能残り時間は選ばれている録音モードでの録音可能な時間を表示します。

ステレオ長時間録音について（LP4、LP2）

ステレオ長時間録音は、ステレオ録音、モノラル録音に比べ音声のデジタル圧縮率をさらに高め、長時間での録音を可能にしています。LP4 モードは LP2 モードに比べさらに圧縮率を高め、長時間録音をします。

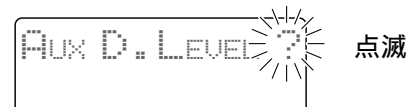
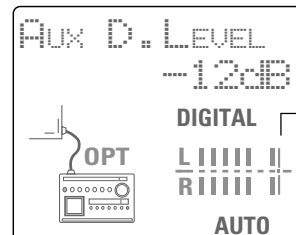
ステレオ長時間モードで録音したMDをステレオ長時間モードに対応していない機器で再生した場合

ステレオ長時間モードに対応していない機器でステレオ長時間録音した曲を再生すると再生状態にはなりますが音は出ません。これらの機器でステレオまたはモノラル録音とステレオ長時間録音された曲が混在している MD を再生したときは、ステレオまたはモノラル録音された曲だけ音が出ます。
このような MD を再生した場合、音が出ていないときに音量を上げすぎると、ステレオまたはモノラル録音された曲にかわったときに突然大きな音がでることになります。音量の上げすぎに注意してください。

異なる録音モードで録音した曲はMDの編集機能で制限があります。“ 曲をつなぐ（CONBINE） ” →60

外部ソースのデジタル録音入力レベルを調節する(AUX D. LEVEL)

BS/CSチューナーなどの外部ソース機器からのデジタル信号の録音入力レベルを調節します。

❶ 入力切り換えを"MD"にする →27
(すでにMDがセットされているときは再生が始まりますので■ STOPキーを押して停止させてください)
❷ MONITORモードを"ON"にする →36
❸ displayキーを押してレベルメーター表示にする →18
❹ menu/demoキーを押す
❺ volume/multi-controlつまみを回して"AUX D. LEVEL ?"を選びsetキーを押す
❻ volume/multi-controlつまみを回して録音入力レベル(-∞〜+12)を調節する
❼ setキーを押して確定する

外部ソースのアナログ録音入力レベルを調節する(AUX A. LEVEL)

カセットデッキなどの外部ソース機器からのアナログ信号の録音入力レベルを調節します。

❶ AUXキーを押す(入力切り換えを"AUX"にする)
❷ menu/demoキーを押す
❸ volume/multi-controlつまみを回して"MONITOR ?"を選びsetキーを押す
❹ volume/multi-controlつまみを回して"ON"を選びsetキーを押す
❺ displayキーを押してレベルメーター表示にする →18
❻ menu/demoキーを押す
❼ volume/multi-controlつまみを回して"AUX A. LEVEL ?"を選びsetキーを押す
❽ volume/multi-controlつまみを回して録音入力レベル(-4〜+3)を調節する
❾ setキーを押して確定する

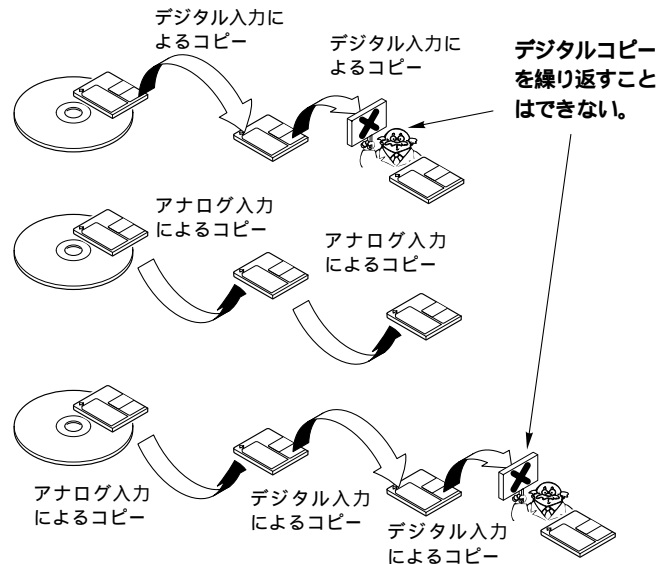
サンプリング・レート・コンバーターについて

通常、デジタル信号には次の三つの種類があり、これはサンプリング周波数と呼ばれます。サンプリング周波数はデジタル機器の種類によって、以下のように分かれています。

32 kHz　: DATの標準モードおよび長時間モード、BSチューナーのAモード放送等。
44.1 kHz : DATの標準モード、CD、MD等。
48 kHz　: DATの標準モード、BSチューナーのBモード放送等。
（DAT:Digital Audio Tapedeck）

一般的にデジタル伝送による高音質録音をする場合、ソース機器側と録音機器側のサンプリング周波数が一致していなければ録音できません。本機は、サンプリング・レート・コンバーターを内蔵しているので、32kHz, 48kHzのデジタル信号は、MDのサンプリング周波数（44.1kHz）に変換して録音することができます。

デジタル録音とSCMS（Serial Copy Management System）について

シリアルコピーマネージメントシステムとは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。

ディスプレイのメッセージについて

ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、録音はできません。

"DISC FULL" : ミニディスクが一杯になっている。
➡ 不要な曲を消す。 →62 →64

"PROTECTED" : 誤消去防止つまみが開いている。
➡ 閉める。 →82

"PLAY ONLY" : 再生専用ミニディスクである。
➡ 録音用ミニディスクを入れる。

"Please Wait" : CD倍速録音をはじめてから74分以内に同じディスクを倍速録音しようとしている。
➡ 表示されている時間が経過してから倍速録音をはじめるか、通常速度で録音する。

ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、デジタル録音はできません。

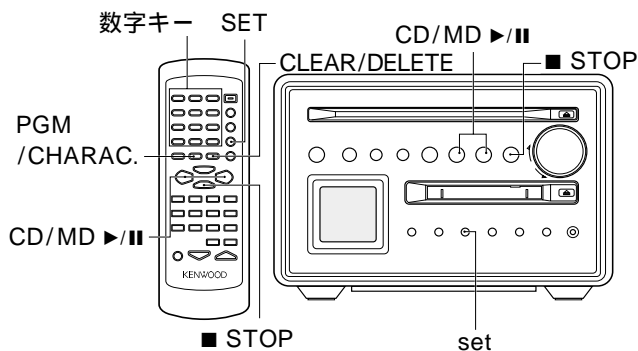
"UNLOCK" : サンプリング周波数が32kHz、44.1kHz、48kHzでない。 →39
➡アナログ録音にする。 →35
: 光ファイバーケーブルが外れているか、接続が不完全である。（接続されていない）
➡光ファイバーケーブルを正しく接続する。 →14

"SCMS" : SCMSによってデジタル録音禁止になっている。 →39
➡アナログ録音にする。 →35

"NOT AUDIO" : 入力されているデジタル信号が、オーディオ信号でない。

CDとMDのいろいろな再生

曲順を並べ替えて聴く
（プログラム再生）

ディスクの中から好きな曲を、好きな曲順で聴くことができます。(最大32曲まで)

入力切り換えを"CD"または"MD"にする →24 →27

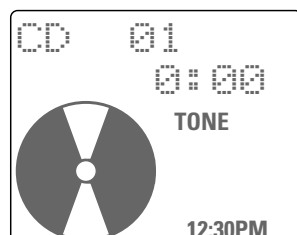
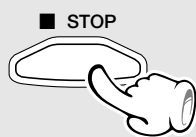
1 停止を確認する

再生中のとき

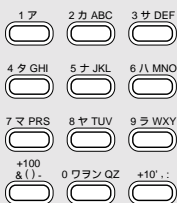
■ STOP（ストップ）キーを押す

2 "PROGRAM（プログラム）"表示を点灯させる

PGM（プログラム）/CHARAC.（キャラクター）キーを押す

点灯

3 聴きたい順に曲を選ぶ

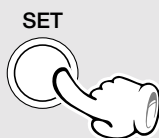
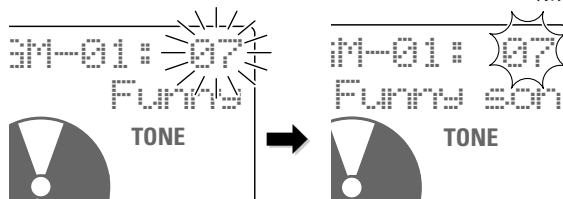
❶ 数字キーで曲番号を選ぶ

20秒以内に手順❷を行う

数字キーを押す順序は

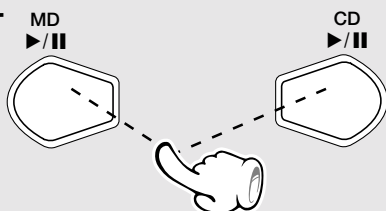
12曲目なら .... +10, 2

20曲目なら .... +10, +10, 0

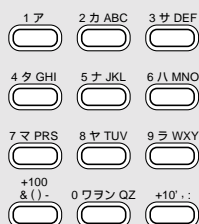
❷ SET（セット）キーを押す

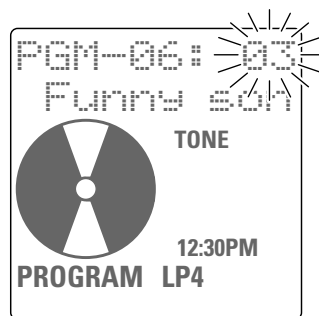
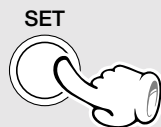
❸ 手順❶、❷を繰り返す

- 32曲まで選べます。"PGM（プログラム） FULL（フル）"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- トラック番号表示の点滅中にSET（セット）キーを押さないと入力が中止されます。
- CD-TEXTが記録されているCDやタイトルなどが登録されているMDの場合はテキストがスクロール表示されます。

4 再生する

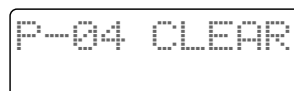
►/IIキーを押す

- プログラムで選んだ順（**PGM-番号**順）に再生します。
- 再生中に |◄◄ または ►►| キーを押すと、前後のプログラム曲へ飛び越します。
- 再生中に |◄◄ キーを1回押すと、その曲の最初に戻ります。

曲を追加するには (リモコンのみ)

❶ 数字キーで追加したい曲番号を選ぶ

数字キーを押す順序は
12曲目なら .... +10, 2
20曲目なら .... +10, +10, 0

❷ SET(セット)キーを押す

- 32曲まで選べます。"PGM(プログラム) FULL(フル)"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 追加したい曲番号を選ぶとプログラムの最後に追加されます。

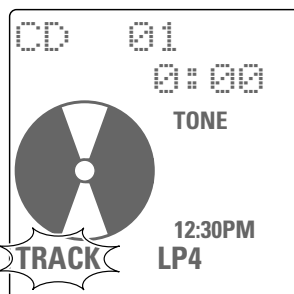
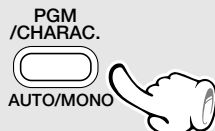
プログラムした曲を取り消すには (リモコンのみ)

CLEAR(クリアー)/DELETE(デリート)キーを押す

停止中に押す

- CLEAR/DELETEキーを押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

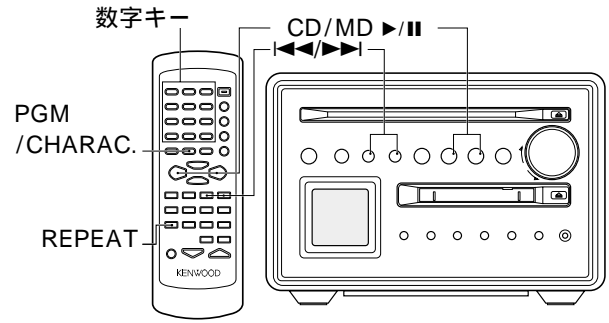
プログラムを解除するには (リモコンのみ)

PGM(プログラム)/CHARAC.(キャラクター)キーを押す

停止中に押す

点灯

- 本機でのCDとMDを組み合わせたプログラムはできません。
- 電源をオフにすると、設定したPGMモード再生は解除されます。
- MDで録音操作をすると、MDのPGMモードは解除されます。

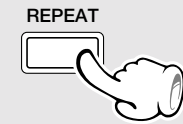
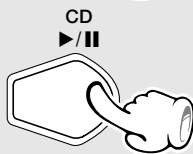
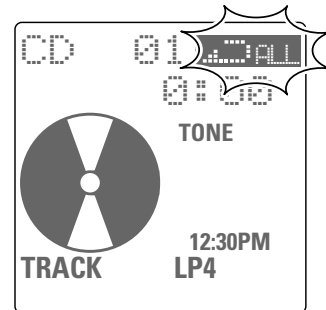
繰り返し聴く（リピート再生）

お気に入りの曲やディスクを繰り返し聴くことができます。

入力切り換えを"CD"または"MD"にする →24 →27

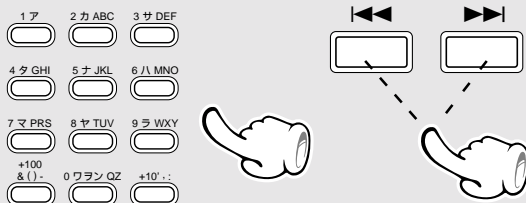
一枚のディスクを繰り返し聴く

❶ "PROGRAM"と表示されているときはPGM/CHARAC.キーを押して"TRACK"を点灯させる

❷ REPEATキーを繰り返し押して"⊃ ALL"を選ぶ

❸ ▶/IIキーを押す

1曲だけを繰り返し聴く

❶ "PROGRAM"と表示されているときはPGM/CHARAC.キーを押して"TRACK"を点灯させる

❷ 数字キーまたは|◀◀、▶▶|で聴きたい曲番号を選ぶと再生が始まる

数字キーを押す順序は

12曲目なら .... +10, 2

20曲目なら .... +10, +10, 0

❸ REPEATキーを繰り返し押して"⊃ 1"を選ぶ

選んだ曲だけを繰り返し聴く

❶ "曲順を並べ替えて聴く（プログラム再生）"の手順❸までを行い、聴きたい曲をプログラムする →40

❷ REPEATキー押して"⊃ ALL"を選ぶ

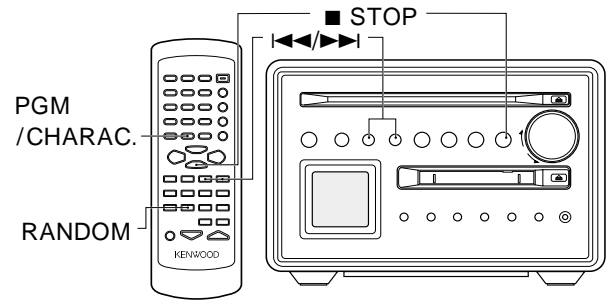
❸ ▶/IIキーを押す

リピート再生をやめるには

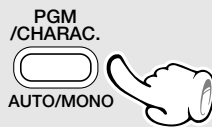
REPEATキーを表示が消えるまで繰り返し押す

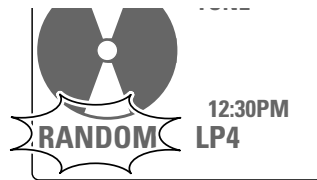
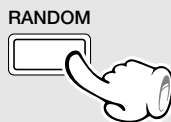
- "⊃"表示が消灯しても再生を続けます。

曲順を順不同に楽しむ
（ランダム再生）

毎回曲がランダムに選択されるので、飽きることなく楽しめます。

入力切り換えを"CD"または"MD"にする →24 →27

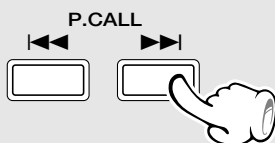
1 "TRACK"の点灯を確認する

"PROGRAM"と表示されているときはPGM/CHARAC.キーを押して"TRACK"を点灯させる

2 ランダム再生を始める

RANDOMキーを押す

点灯

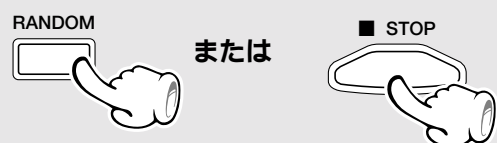
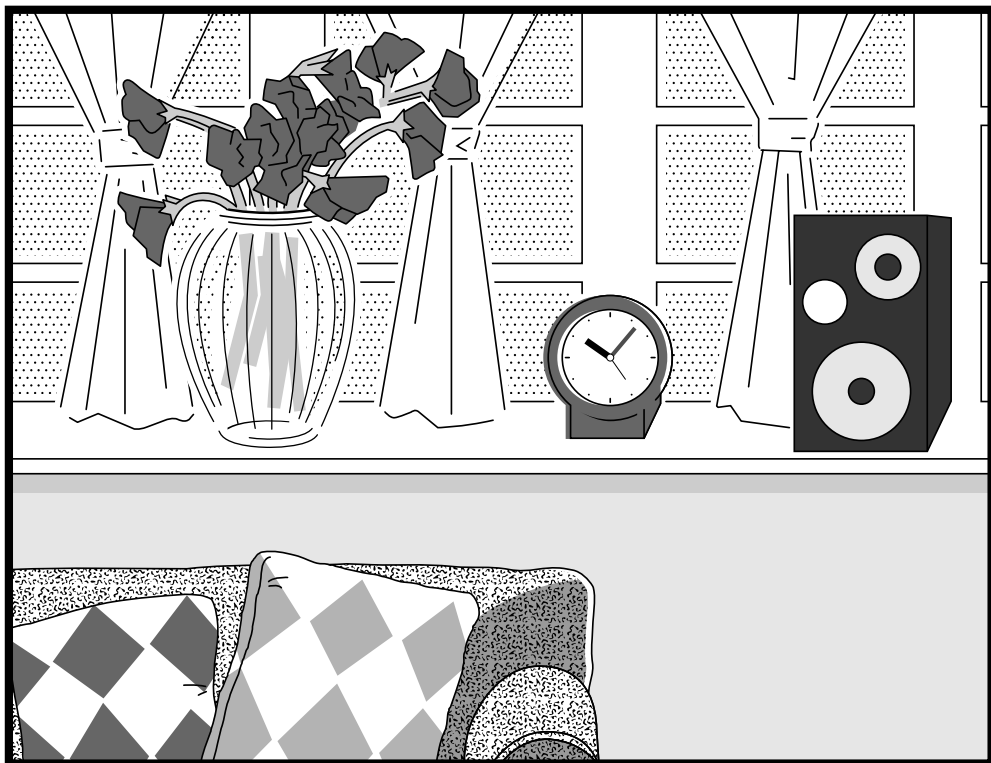
- 全曲の再生が1回終わると停止します。
- REPEATキーを押して"⊃ ALL"を選ぶと、ランダム再生が繰り返されます。

曲の途中で別の曲を選ぶには

▶▶|キーを押す

- |◀◀キーを１回押すと、再生している曲の初めに戻ります。

ランダム再生をやめるには

再生中にRANDOMまたは■ STOPキーを押す

RANDOM または ■ STOP

- RANDOMキーを押すと曲番号順の再生に戻ります。■ STOPキーを押すと停止状態になります。

便利な録音あれこれ

録音のタイプを選ぶ

本機では、通常の録音の他に次のような録音機能があります。用途に応じて選んでください

CDの録音を簡単に早く終わらせたいときは

ワンタッチエディット倍速録音（O.T.E.）（HIGH SPEED）（本体のみ）

全曲倍速録音（HIGH SPEED）

カンタンな操作でCDの全曲を、通常再生の2倍のスピードでMDに録音することができます。 →46

一曲倍速録音（HIGH SPEED）

そのときに聴いているCDの曲だけを、カンタンな操作で通常再生の2倍のスピードでMDに録音することができます。（初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。） →48

CDの録音を簡単にしたいときは

ワンタッチエディット通常速録音（O.T.E.）（NORMAL SPEED）

全曲録音（NORMAL SPEED）

カンタンな操作でCDの全曲を、MDに録音することができます。 →50

一曲録音（NORMAL SPEED）

そのときに聴いているCDの曲だけを、カンタンな操作でMDに録音することができます。（初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。） →50

曲を選び曲順を並びかえて録音をしたいときは

プログラム録音（PGMモード再生＋O.T.E.）

プログラム録音

CDをプログラムした曲順で録音します。（CDの曲を、好きな曲順にプログラムして録音するときに便利です。） →51

ミニディスクに録音した後は、▲キーを押して必ずディスクを取り出してください。取り出すときに録音情報がミニディスクに書き込まれます。

CDの全曲をカンタンな操作で倍速録音する
(ワンタッチエディット全曲録音) (O.T.E.) (HIGH SPEED)

CDからMDにカンタン操作で倍速録音することができます。(本体のみ)

MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

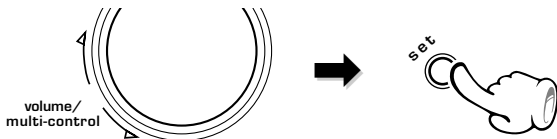
1 録音の準備をする

❶ 録音用MDをミニディスク挿入口に入れる
❷ CDプレーヤーにディスクを入れる

2 録音モードを選ぶ

❶ menu/demoキーを押す

❷ volume/multi-controlつまみで"REC MODE ?"を選んでsetキーを押す。

❸ volume/multi-controlつまみで録音したいモードを選び、setキーを押す。

回すたびに文字表示部が切り換わります。
① STEREO..... ステレオ録音モード
② LP2 .... ステレオ2倍長時間録音モード
③ LP4 .... ステレオ4倍長時間録音モード
④ MONO........ モノラル録音モード

● 長時間録音モードで録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO"または"MONO"で録音してください。 →37

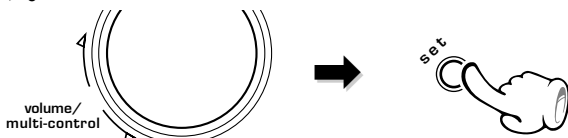
3 CDの再生状態を確認する

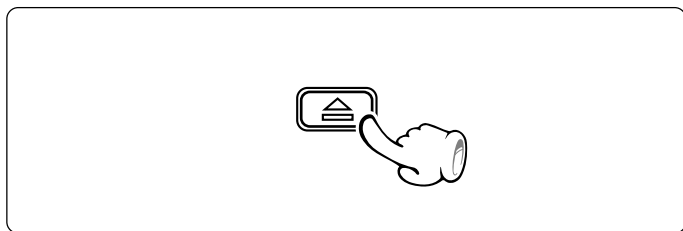
再生中の時は停止させる

4 録音を始める

❶ menu/demoキーを押す

❷ volume/multi-controlつまみで"CD→MD O.T.E. ?"を選んでsetキーを押す。

❸ volume/multi-controlつまみで"HIGH SPEED"を選んでsetキーを押すと倍速録音が開始されます。

回すたびに文字表示部が切り換わります。
① HIGH SPEED (倍速録音)
② NORMAL SPEED (通常速録音)

● 倍速録音中は、CDの倍速再生音が小音量で聴こえます。
● CDの1曲目から録音がはじまり、全曲を録音します。
● CD再生またはMD録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
● 自動的にデジタル録音になります。

5 録音終了後ミニディスクを取り出す

録音を途中でやめるには

（録音、再生ともに停止します。）

いったん倍速録音（HIGH SPEED）をはじめてしまうと、録音をはじめてから74分以内に同じディスクを倍速録音することはできません。この場合、続けて同じディスクを録音したいときは、"NORMAL SPEED"で録音をしてください。

● 手順4で"HIGH SPEED"を選んだ後、実際の録音がはじまるまで数秒間"● II"が表示されます。この間に■キーを押して倍速録音を中止した場合は、74分経過しなくても同じディスクを倍速録音することができます。

ミニディスク取り出しの際の"WRITING（ライティング）"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には振動や衝撃を加えないでください。

CDの1曲をカンタンな操作で倍速録音する
(ワンタッチエディット1曲録音) (O.T.E.) (HIGH SPEED)

CDからMDにカンタン操作で倍速録音することができます。（本体のみ）

MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

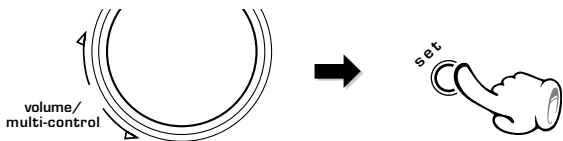
1 録音の準備をする

❶ 録音用MDをミニディスク挿入口に入れる
❷ CDプレーヤーにディスクを入れる

2 録音モードを選ぶ

❶ menu/demoキーを押す

❷ volume/multi-controlつまみで"REC MODE ?"を選んでsetキーを押す。

❸ volume/multi-controlつまみで録音したいモードを選び、setキーを押す。

回すたびに文字表示部が切り換わります。
① STEREO..... ステレオ録音モード
② LP2 .... ステレオ2倍長時間録音モード
③ LP4 .... ステレオ4倍長時間録音モード
④ MONO........ モノラル録音モード

● 長時間録音モードで録音したディスク､トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは､“ STEREO ”または“ MONO ”で録音してください。 →37

3 CDの再生状態を確認する

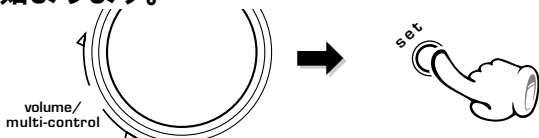
❶ CDを再生する

❷ 録音したい曲を再生する →25

4 録音を始める

❶ menu/demoキーを押す

❷ volume/multi-controlつまみで"CD→MD O.T.E. ?"を選んでsetキーを押す。

❸ volume/multi-controlつまみで"HIGH SPEED"を選んでsetキーを押すと倍速録音が始まります。

回すたびに文字表示部が切り換わります。
① HIGH SPEED （倍速録音）
② NORMAL SPEED （通常速録音）

● 倍速録音中は、CDの倍速再生音が小音量で聴こえます。
● 曲の途中で実行しても、その曲のはじめから録音がはじまります。
● 録音が終了するとCDは一時停止状態になります。
● CD再生またはMD録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
● 自動的にデジタル録音になります。

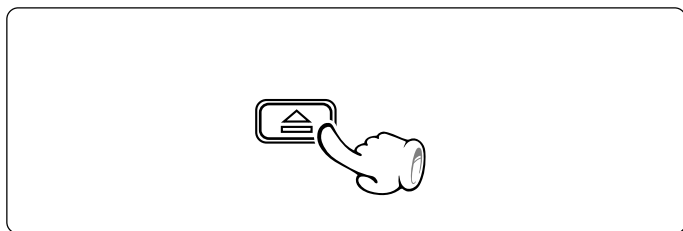
5 録音終了後ミニディスクを取り出す

いったん倍速録音(HIGH SPEED)をはじめてしまうと、録音をはじめてから74分以内に同じディスクを倍速録音することはできません。この場合、続けて同じディスクを録音したいときは、"NORMAL SPEED"で録音をしてください。

● 手順4で"HIGH SPEED"を選んだ後、実際の録音がはじまるまで数秒間"● II"が表示されます。この間に■キーを押して倍速録音を中止した場合は、74分経過しなくても同じディスクを倍速録音することができます。

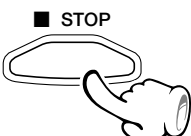
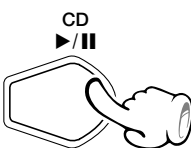
ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には振動や衝撃を加えないでください。

録音を途中でやめるには

(録音、再生ともに停止します。)

CDをワンタッチで録音する

(ワンタッチエディット通常速録音) (O.T.E.) (NORMAL SPEED)

CDの全曲を、ワンタッチで録音できます。(全曲録音)
CDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初から録音できます。(１曲録音)

MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

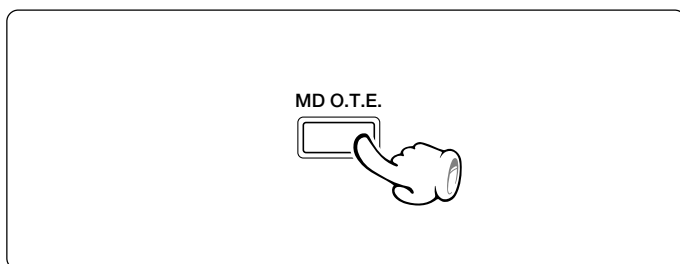
❶ 録音用MDをミニディスク挿入口に入れる
❷ CDプレーヤーにディスクを入れる

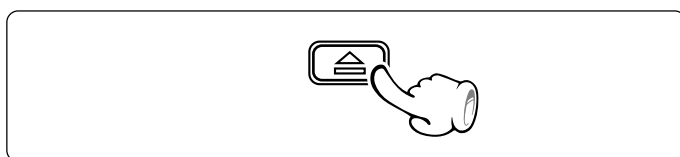
2 録音モードを選ぶ

"CDの1曲をカンタンな操作で倍速録音する"の手順❷で録音モードを選ぶ →48

3 CDの再生状態を確認する

全曲録音するとき	１曲録音するとき
再生中のときは停止させる ■ STOP	❶ CDを再生する CD ▶/II ❷ 録音したい曲を再生する →25 ● 曲の途中でMD O.T.E.キーを押しても、その曲のはじめから録音がはじまります。

4 録音を始める

- 録音が終了するとCDは一時停止状態になります。
- CD再生またはMD録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 自動的にデジタル録音になります。
- 本体で操作する場合は、 メニューモードの**"CD→MD O.T.E."**を選び、**"NORMAL SPEED"**を選んで**set**キーを押すと録音がはじまります。

5 録音終了後ミニディスクを取り出す

録音を途中でやめるには

(録音、再生ともに停止します。)

ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には振動や衝撃を加えないでください。

曲順を並べ替えて録音する (PGMモード+O.T.E.)

（プログラム：PGM、ワンタッチエディット：O.T.E.）

好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをMDに録音することができます。

MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

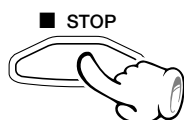
1 録音の準備をする

❶ 録音可能なMDをミニディスク挿入口に入れる
❷ CDプレーヤーにディスクを入れる

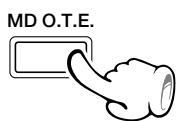
2 録音モードを選ぶ

"CDの1曲をカンタンな操作で倍速録音する"の手順❷で録音モードを選ぶ →48

3 CDの再生状態を確認する

再生中の時は停止させる

4 CDの曲順をプログラムします

"曲順を並べ替えて聴く（プログラム再生）"の手順❷～❸で録音する曲をプログラムをする →40

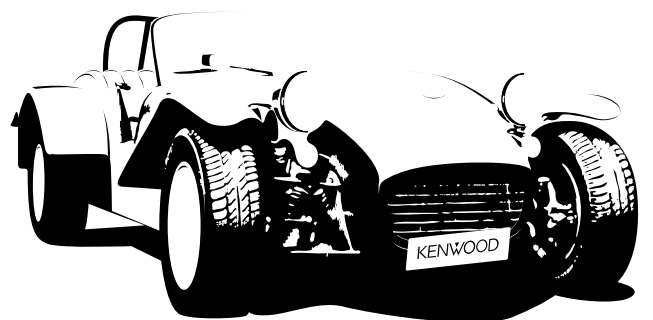
5 録音を始める

- プログラムの1曲目から録音がはじまり、全プログラムを録音します。
- CD プログラム再生またはMD録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 自動的にデジタル録音になります。

6 録音終了後ミニディスクを取り出す

録音を途中でやめるには

（録音、再生ともに停止します。）

ミニディスク取り出しの際の"WRITING（ライティング）"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には振動や衝撃を加えないでください。

応用編

編集機能のタイプを選ぶ

市販の録音用ミニディスクを使うと、録音後に各種の編集を行なうことができます。再生専用のミニディスクは編集できません。

MDはディスクからメモリーに読み込まれた情報を元に動作します。取り出し操作をしたときに、情報をディスクに書き込みます。タイトル入力後、および編集後は必ずミニディスクを取り出して下さい。

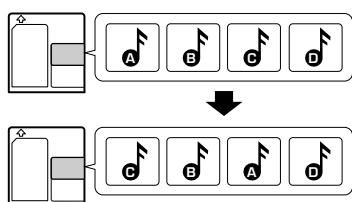
MD規格上の機能制限について

MDのいくつかの機能には、規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、"MD規格上の症状"をご確認ください。→85

編集機能を使用するときはPGM/CHARAC.（プログラム/キャラクター）キーを押して"TRACK"（トラック）を点灯させてください。

曲順の入れ替え

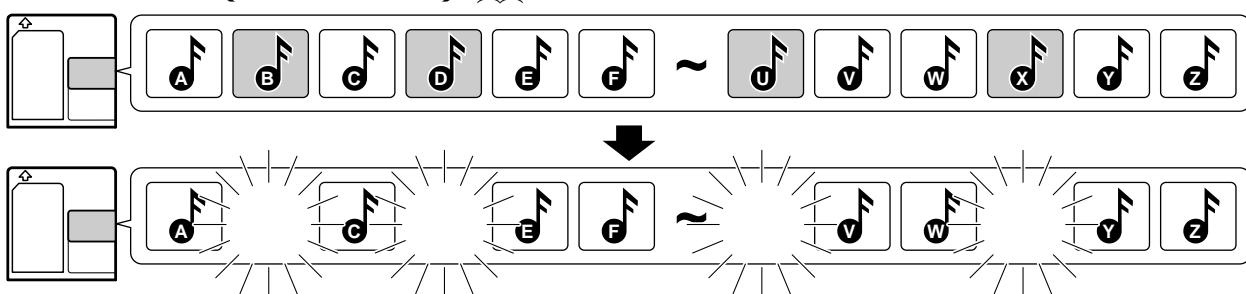
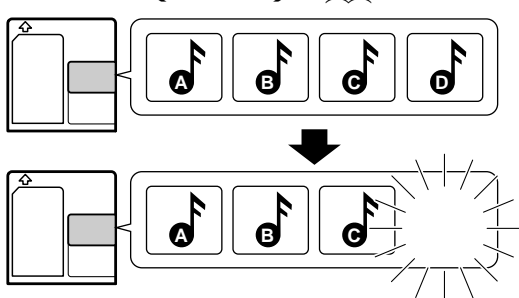
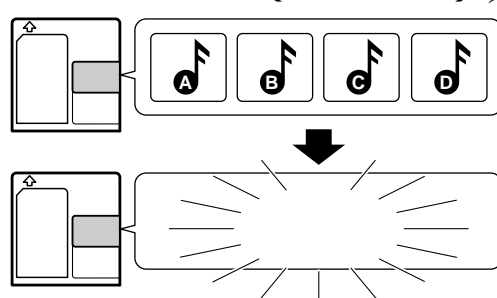
曲順をまとめて入れ替える（QUICK MOVE）（クイック ムーブ）→54

曲順を1曲ずつ入れ替える（MOVE）（ムーブ）→56

曲の分割と結合

再生中の曲を分ける（DIVIDE）（ディバイド）→58

再生中の曲をつなぐ（COMBINE）（コンバイン）→60

曲の消去

曲をまとめて消す（QUICK ERASE）（クイック イレース）→62

1曲ずつ消す（ERASE）（イレース）→64

MD内の曲を全て消す（ALL ERASE）（オール イレース）→65

ミニディスクや曲にタイトルをつける（リモコンのみ）

→66

タイトルをコピーまたはメモして、他のミニディスクや曲につける（TITLE COPY）（TITLE MEMO）（リモコンのみ）

（タイトル コピー）（タイトル メモ）→71

英数字に加えてカタカナなどの入力も可能です。表示部に表示される文字の中から順に選ぶだけのカンタンな操作でタイトルを入力できます。
入力したタイトルは、機種間の互換性があるので、他のMDレコーダー（プレーヤー）にそのミニディスクをセットしたときも表示されます。
（タイトルの互換性には、表示可能な文字種や文字数など、一部の規制があります）

編集した内容を取り消す（EDIT CANCEL）

（エディット キャンセル）→74

曲順をまとめて入れ替える（QUICK MOVE）

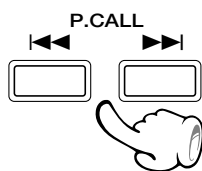
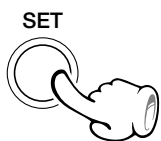
並べたい順に曲（トラック番号）を選び出し、ひとまとめにして曲順を入れ替えることができます。入れ替えが終ると、全てのトラック番号が通し番号に自動的に調節されます。

編集機能を使用するときはPGM/CHARAC.キーを押して"TRACK"を点灯させてください。

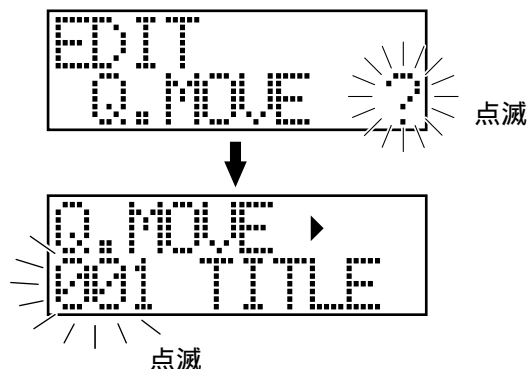
入力切り換えを"MD"にする。停止中に操作してください。

1 "Q.MOVE ?"を選ぶ

❶ TRACK EDITキーを押す

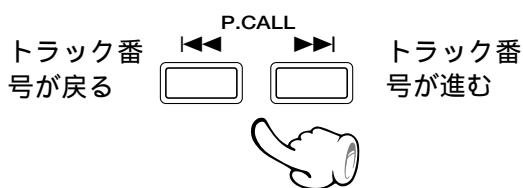
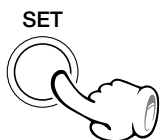
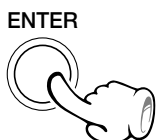
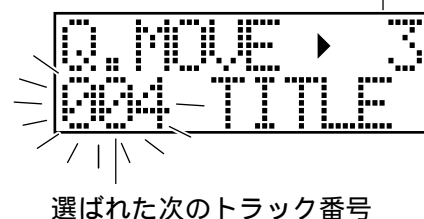
❷ "Q.MOVE ?"を選ぶ

❸ 確定する

⏮、⏭ キーを押すたびに切り換わります。

① Q.MOVE ?
② Q.ERASE ?
③ CANCEL ?

- もう一度TRACK EDITキーを押す、または途中で約8秒放置すると編集は中止されます。

2 並べ替えたい順に曲を選ぶ

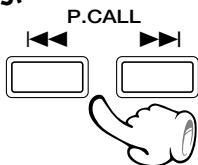
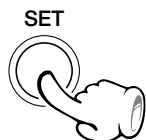
❶ 曲（トラック番号）を選ぶ

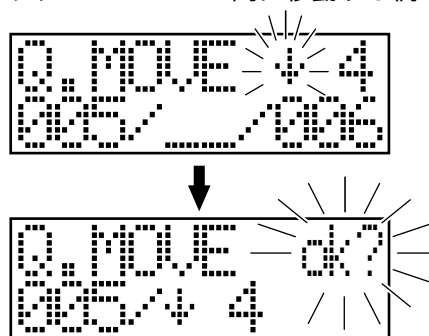
❷ 確定する

❸ 手順❶と❷を繰り返す

❹ 並べ替えたい曲の選択を終了する

- 32曲まで選ぶことができます。
- ◀◀、▶▶ キーで、選んだ曲順の確認ができます。
- CLEAR/DELETE キーを押すと、最後に選んだ曲（トラック番号）を取り消すことができます。

3 曲順を並べ替える

❶ 移動先を選ぶ

❷ 確定する

❸ 曲順を並べ替える

● タイトルがあるときはスクロールします。
トラックNo.5とNo.6の間に移動する例

実行後の表示

EDIT NOW（エディット ナウ）	：	編集中
COMPLETE（コンプリート）	：	編集完了
CAN' T EDIT（キャント エディット）	：	編集不可能

4 ミニディスクを取り出す

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。

→74

情報を書き込み中　ミニディスク排出

メモ "WRITING"（ライティング）表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

曲順をまとめて入れ替えるイメージ

18 6 3 19 4 ..... 移動したい曲を好きな順に選び出す

TOP 18 6 3 19 4 1 2 5 7 ..... 22 END ..... 移動先を選ぶ

1 2 3 4 5 6 7 8 9 ..... 22 ..... 曲順の入れ替えが完了する
（トラック番号が調整される）

曲順を1曲ずつ入れ替える（MOVE）

再生中の曲を、お好みの位置へ移動（挿入）することができます。入れ替えが終ると、全てのトラック番号が通し番号に自動的に調整されます。
MOVEを繰り返し行うと、全曲をお好みの曲順に並べ替えることができます。

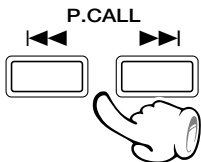
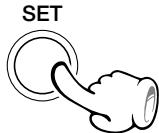
編集機能を使用するときはPGM/CHARAC.キーを押して"TRACK"を点灯させてください。

再生中または一時停止中に操作してください。

1 "MOVE ?"を選ぶ

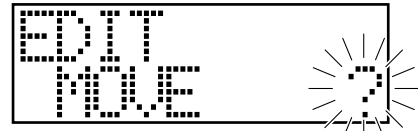
❶ **TRACK EDITキーを押す**

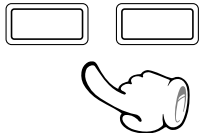
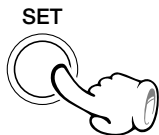
● 再生中に編集を始めると、一時停止になります。

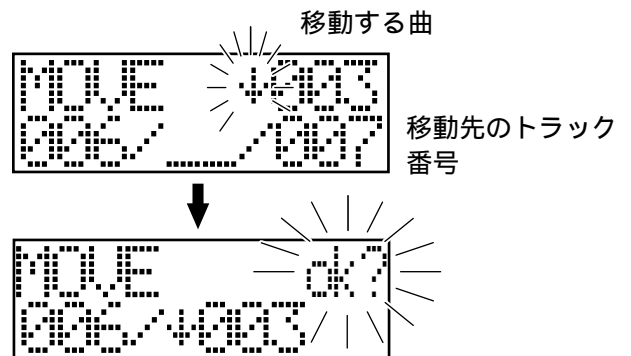
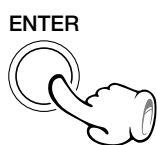
❷ **"MOVE ?"を選ぶ**

⏮、⏭ キーを押すたびに切り換わります。

① **DIVIDE ?**
② **COMBINE ?**
③ **ERASE ?**
④ **MOVE ?**

● もう一度**TRACK EDIT**キーを押す、または途中で約8秒放置すると編集は中止されます。

❸ **確定する**

2 移動先を選ぶ

❶ **曲（トラック番号）を選ぶ**

● タイトルがあるときはスクロールします。

トラックNo.6とNo.7の間に移動する例

❷ **確定する**

3 曲の移動をする

実行後の表示

EDIT NOW（エディット ナウ）	：	編集中
COMPLETE（コンプリート）	：	編集完了
CAN' T EDIT（キャント エディット）	：	編集不可能

4 ミニディスクを取り出す

情報を書き込み中　　ミニディスク排出

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。

→ 74

"WRITING"（ライティング）表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

曲順を1曲ずつ入れ替えるイメージ

1 2 3 4 5 6 7 ….. 22　**移動する曲を選ぶ**

TOP 1 2 3 4 5 6 ….. 22 7 END　**移動先を選ぶ**

1 2 3 4 5 6 ….. 21 22　**曲順の入れ替えが完了する（トラック番号が調整される）**

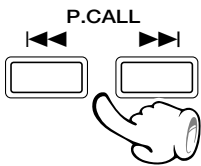
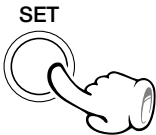
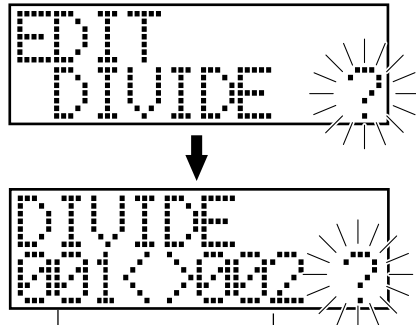
曲を分ける（DIVIDE）

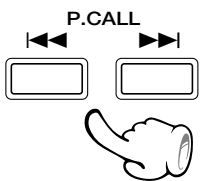
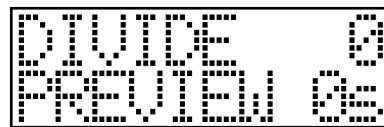
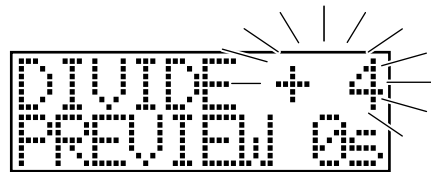
曲の途中に曲番号（トラック番号）を追加することにより、曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておくと、再生のとき聴きたいところにスキップができるので便利です。分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に調整されます。
プレビュー機能を使って、分割したいところを繰り返し聴きながら微調整ができます。

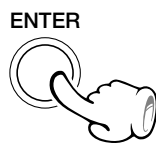
編集機能を使用するときはPGM/CHARAC.キーを押して"TRACK"を点灯させてください。

再生中または一時停止中に操作してください。

1 分割したい曲を再生する

2 希望の所でTRACK EDITキーを押す

● 曲を分割するときは、曲のはじめから約2秒以上後に分割ポイントを設定してください。約2秒より短い曲に分割できないことがあります。
● 再生中に編集を始めると、一時停止になります。
● もう一度TRACK EDITキーを押す、または途中で約8秒放置すると編集は中止されます。

プレビューをしないときは、一度ENTERキーを押してから手順4に進みます。

3 プレビューをするとき

● 分割点から約３秒が繰り返し再生されます。

● 分割点の微調整は、TRACK EDITキーを押した所を0として、60ms（6/100秒）単位で－31～＋31ステップ（約4秒の範囲）で可能です。

4 曲の分割を実行する

手順1〜4を繰り返して、最大255までトラック番号を追加できます。

実行後の表示

EDIT NOW（エディット ナウ）：編集中
COMPLETE（コンプリート）：編集完了
CAN' T EDIT（キャント エディット）：編集不可能

- 分割で生まれた曲間には、無音部分がありません。
- MD規格の制限で、曲を分けられない場合があります。
- 分割して新しくできた曲のはじめで一時停止になります。

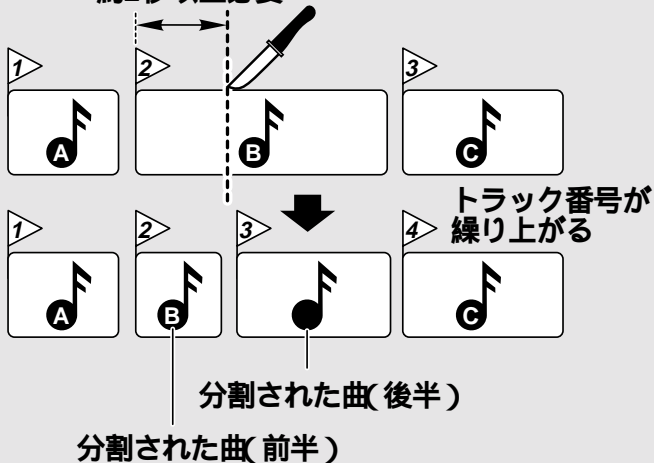
5 ミニディスクを取り出す

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。

→74

情報を書き込み中　ミニディスク排出

"WRITING"（ライティング）表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

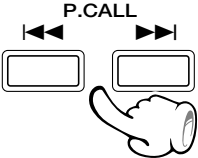
曲を分割するイメージ

プレビュー再生のイメージ

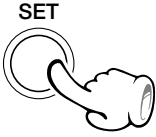
曲をつなぐ（COMBINE）

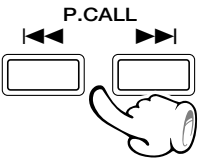
二つの曲をつないで一つの曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。曲をつなぎ終ると、全てのトラック番号が通し番号に自動的に調整されます。

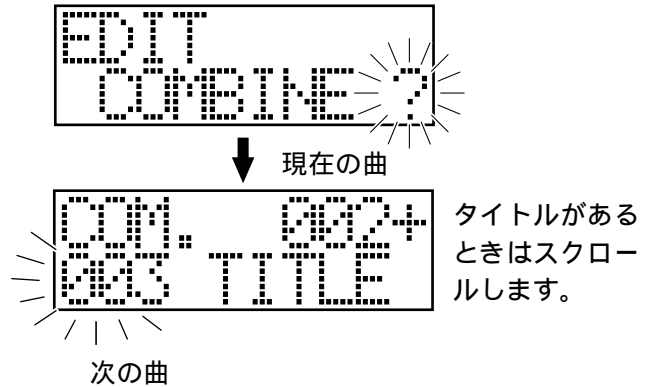
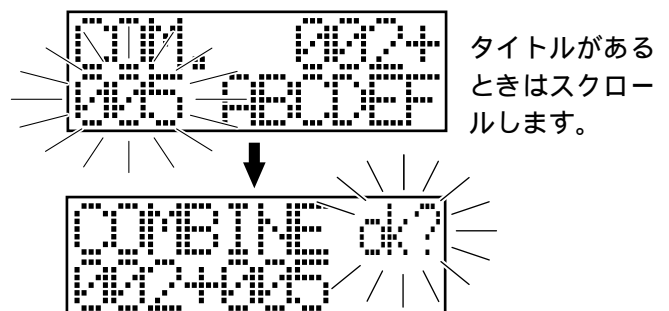
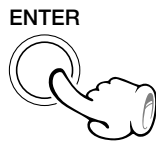
異なる録音モードの二つの曲はつなぐことができません。（例 :“ LP4 ” ＋ “ LP2 ” 等） →37

編集機能を使用するときはPGM/CHARAC.キーを押して"TRACK"を点灯させてください。

再生中または一時停止中に操作してください。

1 つなぎたい曲を再生する

2 "COMBINE ?"を選ぶ

● 再生中に編集を始めると、一時停止になります。

● もう一度TRACK EDITキーを押す、または途中で約8秒放置すると編集は中止されます。

再生中の曲と、次の曲をつなぐ場合は、ENTERキーを押してから手順 4へ進みます。

3 他の曲をつなぎたい場合

2曲目と5曲目をつなぐ場合

4 曲と曲の結合を実行する

実行後の表示

EDIT NOW（エディット ナウ）	：	編集中
COMPLETE（コンプリート）	：	編集完了
CAN' T EDIT（キャント エディット）	：	編集不可能

- MD規格の制限で、曲をつなぐことができない場合があります。
- 結合して新しくできた曲のはじめで一時停止になります。

5 ミニディスクを取り出す

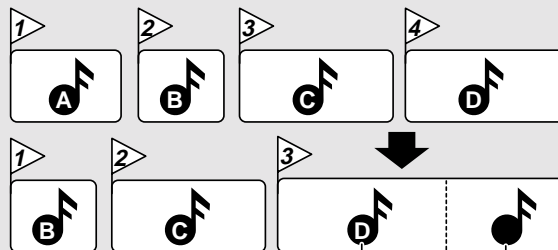
ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。

→ 74

情報を書き込み中　　ミニディスク排出

メモ **"WRITING"（ライティング）表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。**

曲をつなぐイメージ

4曲目と1曲目をつなぐ場合

トラック番号が調整される

前半部のタイトルが残る

後半部のトラック番号とタイトルは消える

曲をまとめて消す（QUICK ERASE）

停止中に、選んだ曲 または全曲消すことができます。曲を消すと元に戻せない場合がありますので、十分注意してください。

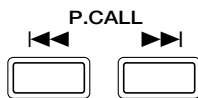
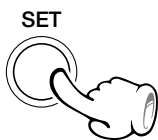
編集機能を使用するときはPGM/CHARAC.キーを押して"TRACK"を点灯させてください。

入力切り換えを"MD"にする。停止中に操作してください。

1 "Q.ERASE ?"を選ぶ

❶ TRACK EDITキーを押す

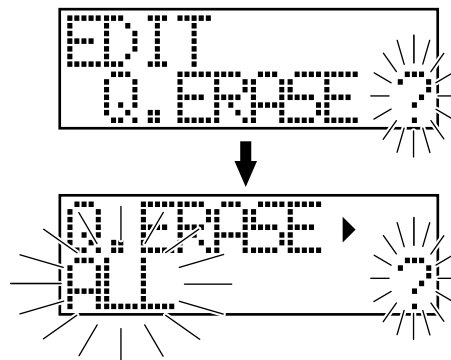
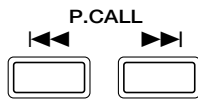
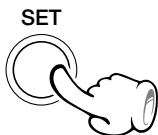
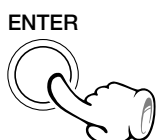
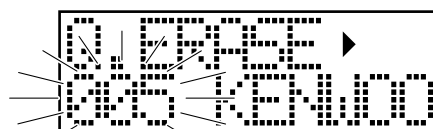
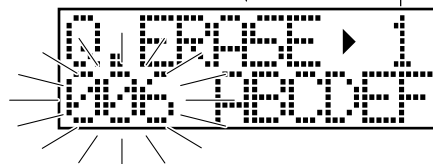
❷ "Q.ERASE ?"を選ぶ

❸ 確定する

- もう一度**TRACK EDIT**キーを押す、または途中で約8秒放置すると編集は中止されます。

2 消したい曲を選ぶ

❶ 消したい曲を選ぶ

❷ 確定する

❸ 手順❶❷を繰り返す

❹ 選択を終了する

消したい曲番を表示させる

- 32曲まで選ぶことができます。
- ◀◀、▶▶ キーで、選んだ曲の確認ができます。
- **CLEAR/DELETE** キーを押すと、最後に選んだ曲が、消去選択群の中から削除できます。

消す曲数

3 消去を実行する

実行後の表示

EDIT NOW（エディット ナウ）	：	編集中
COMPLETE（コンプリート）	：	編集完了
CAN' T EDIT（キャント エディット）	：	編集不可能

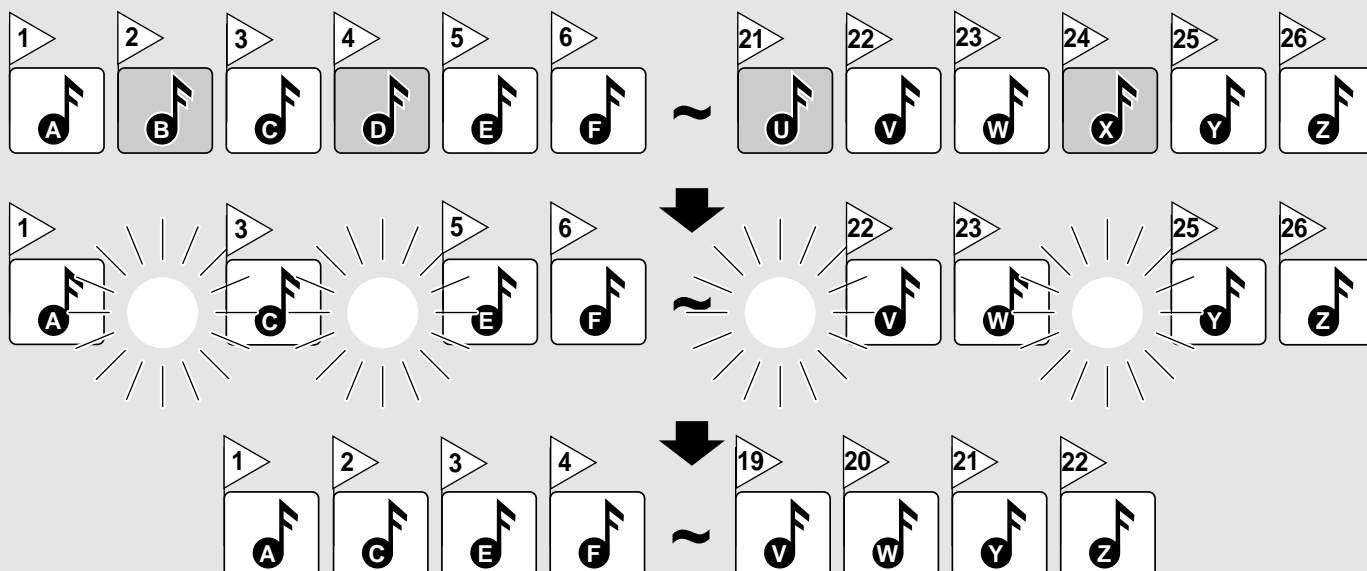
4 ミニディスクを取り出す

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。

→74

情報を書き込み中　　ミニディスク排出

メモ "WRITING"（ライティング）表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

曲をまとめて消すイメージ

1曲ずつ消す（ERASE）

選んだ1曲のみを消すことができます。消し終ると、その曲以降のトラック番号は調整されます。

編集機能を使用するときはPGM/CHARAC.キーを押して"TRACK"を点灯させてください。

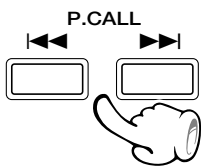
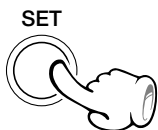
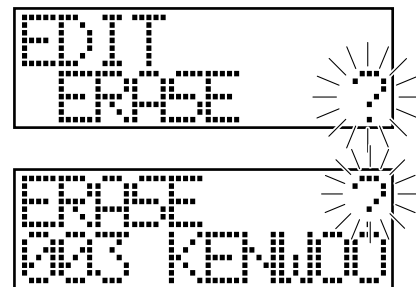
再生中または一時停止中に操作してください。

1 消したい曲を再生する

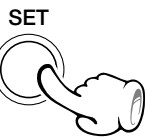
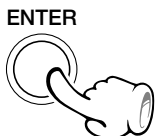
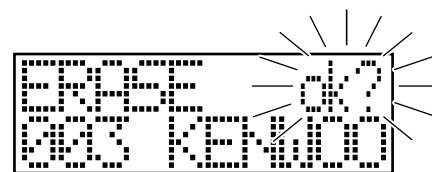
2 "ERASE ?"を選ぶ

❶ **TRACK EDITキーを押す**

❷ **"ERASE ?"を選ぶ**

❸ **確定する**

● もう一度TRACK EDITキーを押す、または途中で約8秒放置すると編集は中止されます。

消去するトラック番号

3 消去を実行する

❶ **消去の確認**

❷ **消去を実行する**

● 再生中の曲が消去されます。

4 ミニディスクを取り出す

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。

→ 74

情報を書き込み中　　ミニディスク排出

"WRITING"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

MD内の曲を全て消す（ALL ERASE）

停止中に全曲消すことができます。ミニディスク全体を消すと元に戻せませんので、十分注意してください。

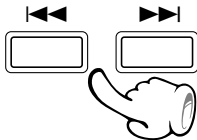
編集機能を使用するときはPGM/CHARAC.キーを押して"TRACK"を点灯させてください。

入力切り換えを"MD"にする。停止中に操作してください。

1 "Q.ERASE ?"を選ぶ

❶ TRACK EDITキーを押す

❷ "Q.ERASE ?"を選ぶ

❸ 確定する

● もう一度TRACK EDITキーを押す、または途中で約8秒放置すると編集は中止されます。

2 SETキーを押す

"ALL ?"表示中に押します

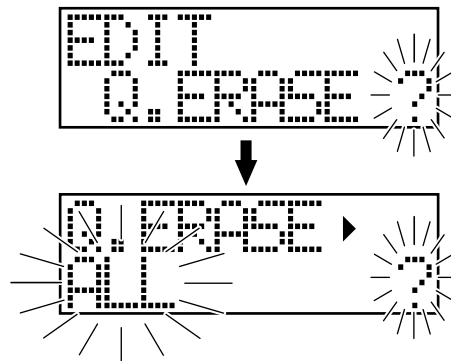
3 消去を実行する

実行後の表示

EDIT NOW　：　編集中
COMPLETE　：　編集完了
CAN' T EDIT　：　編集不可能

4 ミニディスクを取り出す

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。

→74

情報を書き込み中　　ミニディスク排出

"WRITING"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

ミニディスクや曲にタイトルをつける（リモコンのみ）

ミニディスクや曲に名前（タイトル）をつけておくと、再生中にタイトルが表示されるだけでなく、タイトルサーチ（タイトルで曲を探す）が可能になります。入力したタイトルは、同じ手順で変更や消すことができます。

編集機能を使用するときはPGM/CHARAC.キーを押して"TRACK"を点灯させてください。

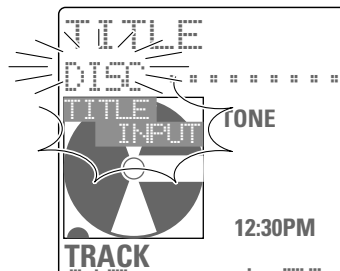
入力切り換えを"MD"にする。 →27

1 タイトル入力状態にする

❶ TITLE INPUTキーを押す

❷ 編集するタイトルを選ぶ

❸ 確定する

中止するときは、もう一度TITLE INPUTキーを押します。

⏮, ⏭ キーを押すと切り換わります。

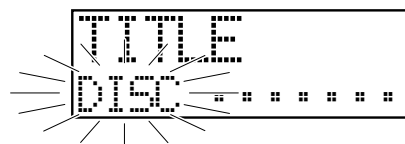
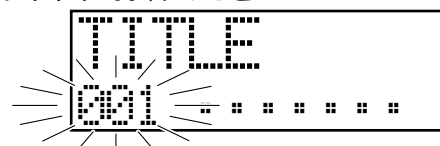
① **DISC ・・・・・　（ディスクタイトル）*1**
② **001, 002 ・・・・・　（トラックタイトル）*2**
③ **ALL ERASE ?　（ディスクとトラックタイトルの全消去）**
④ **[1], [2], [3] ・・・・・（タイトルメモ）*3**

*1 停止中に手順1-❶を行うと、ディスクタイトルから表示がはじまります。

*2 ⏮,⏭キーを押すたびに"001"、"002"・・・とトラックタイトルが順番に表示され、全トラックの表示が終わると③、④と続きます。再生中に手順1-❶を行うと、演奏中のトラックから表示がはじまります。

*3 ⏮,⏭キーを押すたびに選ばれたタイトルメモの数字が点滅し、次に①、②と続きます。

ディスクタイトルのとき：

DISCを選びます。

トラックタイトルのとき：

目的のトラックNo.を選びます。
（数字キーでも選べます。）

● タイトルをつけていないときは、"......."と表示されます。

入力できる文字数について

**ミニディスク全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。（英、数、記号の場合）
カタカナを使用した場合は、1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。
スペース（1文字ぶんの空白）も、文字と同じ量のデータを必要とします。
タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除（CLEAR/DELETE）をご利用ください。**

→67 →68

2 タイトルを入力する

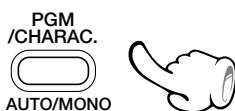
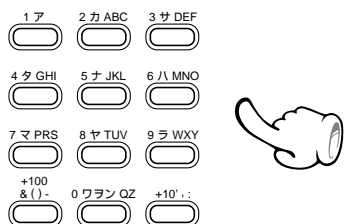
数字キーで文字を選ぶとき（文字入力モード）

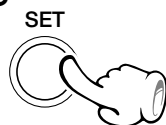
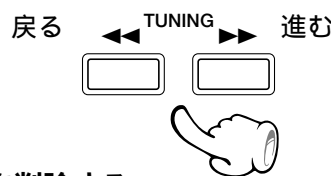
Aa、12、アァ いずれかの表示になっていないときは数字キーのいずれかを押すと文字入力モードになります。

タイトルを入力する場合

❶ 文字グループを選ぶ

❷ 文字を選ぶ

同じキーを繰り返し押すと文字がかわります。

（例：2 カ ABC を押したとき A→B→C→a→b→c と変わります。）

- 間違えたときは、CLEAR/DELETEキーを押します。

❸ 文字を確定する

❹ 手順❶～❸を繰り返す

タイトルを変更、消去する場合

❶ カーソルを目的の（変更する）文字に合わせる

❷ 文字を削除する

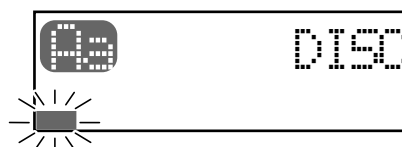
❸ タイトルを入力する場合の❶～❹を行う

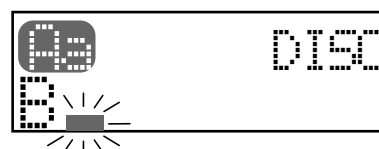
文字の選び方には"文字入力キーモード"と"スキップキーモード"の2通りの方法があります。

PGM／CHARAC.キーを数回押して、下記の文字グループを選びます。 →70

Aaグループ
A～z、記号とタイトルメモ（[1]、[2]、[3]）

12グループ
0～9 と記号

アァグループ
アイウエオ…ガギグゲゴ…と記号

入力される場所

- ◀◀、▶▶ キーで、入力場所（カーソル）を左右に移動できます。
- TIME/SPACEキーで、1文字分の空白を入力することができます。

カーソルが移動、次の文字の入力待ち

- 文字を選んでいるとき他の数字キーや ▶▶ キー、PGM/CHARAC. キーなどを押したときも確定されます。

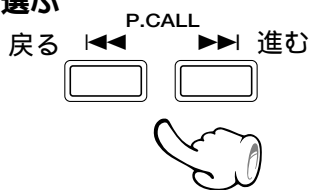
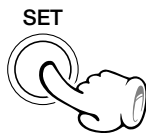
- 文字を削除（手順❷）しないで文字の挿入だけをしたいときは、挿入したい場所の直後の文字にカーソルを合わせます。

応用編

次ページにつづく

⏮、⏭キーで文字を選ぶとき（スキップキーモード）

Aa、12、7ｱ いずれかの表示になっているときは⏮または⏭キーを押すとスキップキーモードになります。

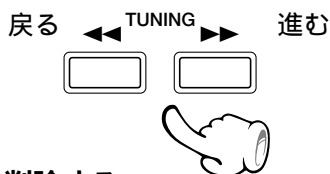
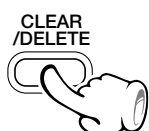
タイトルを入力する場合

❶ 文字グループを選ぶ

❷ 文字を選ぶ

❸ 文字を確定する

❹ 手順❶〜❸を繰り返す

タイトルを変更、消去する場合

❶ カーソルを目的の（変更する）文字に合わせる

❷ 文字を削除する

❸ タイトルを入力する場合の❶〜❹を行う

文字の選び方には"文字入力キーモード"と"スキップキーモード"の2通りの方法があります。

PGM／CHARAC.（プログラム キャラクター）キーを数回押して、下記の文字グループを選びます。 →70

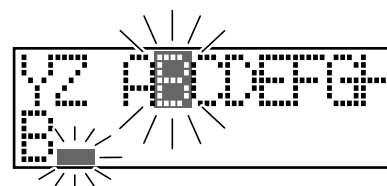
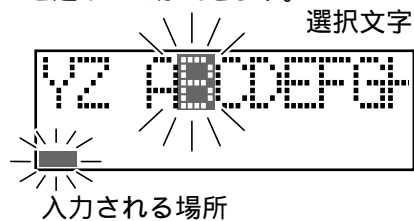
アルファベットの大文字グループ
- A〜Z とスペース（1文字分の空白）

アルファベットの小文字グループ
- a〜z とスペース

数字、記号グループ
- 0〜9 と記号

カタカナグループ
- アイウエオ…ガギグゲゴ…

タイトルグループ
- タイトルメモ（[123]）、タイトルコピー（ディスクタイトル、トラックタイトル）

● 表示がスクロールして、（同じグループ内の）すべての文字を選ぶことができます。

カーソルが移動、次の文字の入力待ち

● TIME/SPACE（タイム スペース）キーで、1文字分の空白を入力することができます。

● 文字を削除（手順❷）しないで文字の挿入だけをしたいときは、挿入したい場所の直後の文字にカーソルを合わせます。

3 タイトルの編集を実行する

❶ タイトルを書き込む

ENTER

● 必要があれば手順1-❷〜3-❶を繰り返し、別のタイトル入力を続けます

❷ 終了する

TITLE INPUT

入力したタイトルがスクロールする

4 ミニディスクを取り出す

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。

→74

情報を書き込み中　　ミニディスクを排出

"WRITING"(ライティング)表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

タイトルを全て消す

❶ **TITLE INPUT(タイトル インプット)キーを押す**

TITLE INPUT

❷ **"ALL ERASE ?"(オール イレース)を選ぶ**

P.CALL

戻る　|◀◀　▶▶|　進む

❸ **確定する**

SET

❹ **ENTER(エンター)キーを押す**

ENTER

❺ **終了する**

TITLE INPUT

|◀◀、▶▶| キーを押すと切り換わります。

① DISC(ディスク) .... （ディスクタイトル）
② 001, 002 .... （トラックタイトル）
③ ALL ERASE ?(オール イレース) .... （ディスクとトラックタイトルの全消去）
④ [1], [2], [3] .... （タイトルメモ）

キー機能について

◀◀または▶▶キー：
カーソルの位置を移動します。

CLEAR(クリア) / DELETE(デリート)キー：
カーソルを合わせた文字が消去され、それ以降の文字が１文字づつ前に詰められます。続けて押す（または押したままにして繰り返し消していく）と、簡単にタイトルを消すことができます。

応用編

タイトル編集文字一覧表

次のようなカタカナ文字やアルファベット文字、並びに各種記号などを選ぶことができます。

リモコンの数字キーで文字を選ぶとき（文字入力モード）

キー ＼ グループ	Aa	12	アァ
1ア	スペース[1] [2] [3]	1	アイウエオァィゥェォ
2カABC	ABCabc	2	カキクケコ
3サDEF	DEFdef	3	サシスセソ
4タGHI	GHIghi	4	タチツテトッ
5ナJKL	JKLjkl	5	ナニヌネノ
6ハMNO	MNOmno	6	ハヒフヘホ
7マPRS	PRSprs	7	マミムメモ
8ヤTUV	TUVtuv	8	ヤユヨャュョ
9ラWXY	WXYwxy	9	ラリルレロ
0ワQZ	QZqz	0	゛゜ワヲン
+10’，：	’，：？！；．”_ ` ＄ スペース		
+100&()－	&()－/＋＊＝＜＞＃％＠		

- 「゛」「゜」はカーソル手前の文字によって入力できないことがあります。
- 英字の大文字と小文字が表示される順番は入力する前の状態によって入れ替わります。

リモコンの⏮、⏭キーで文字を選ぶとき（スキップキーモード）

英字の大文字グループ	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ スペース
英字の小文字グループ	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz スペース
数字、記号グループ	0123456789 スペース! ”# ＄％& ’ ( ) ＊ ＋ ，－ ．/ ：；＜＝＞ ` ? @ スペース _
カタカナグループ	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲン スペース ーァィゥェォッャュョヴガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデドバビブベボパピプペポ スペース ー
タイトルメモ/タイトルコピーグループ	[1] [2] [3] [DISC] ([001]•••)

応用編

タイトルをコピーまたはメモして、他のミニディスクや曲につける（TITLE COPY）（TITLE MEMO）（リモコンのみ）

文字入力の手間を省くため、何回も使うようなディスクタイトル（ミニディスク名）、トラックタイトル（曲名）、入力文字をタイトルメモ（"[1]"～"[3]"）として保存し、別のディスクや、トラックにコピーして使うことができます。
3つまでのタイトルや入力文字を保存することができます。

編集機能を使用するときはPGM/CHARAC.キーを押して"TRACK"を点灯させてください。

入力切り換えを"MD"にする →27

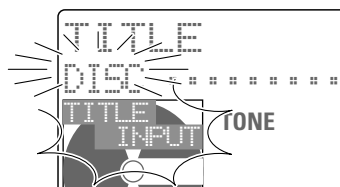
ディスクまたはトラックタイトルをタイトルメモにコピーする（TITLE COPY）

例：MDの7曲目に録音／登録している"A. Songs"というトラックタイトルをメモ番号[1]に保存する

1 保存先のタイトルメモ番号を選ぶ

❶ TITLE INPUTキーを押す

❷ 保存先のタイトルメモ番号（[1]～[3]）の中から番号[1]を選び、確定する

中止するときは、もう一度TITLE INPUTキーを押します。

① DISC .... （ディスクタイトル）
② 001, 002 .... （トラックタイトル）
③ ALL ERASE ？...... （ディスクとトラックタイトルの全消去）
④ [1], [2], [3] .... （タイトルメモ）

2 タイトルグループを選ぶ

❶ "スキップキーモード"にする

Aa、12、ｱｧ いずれかの表示になっているときは⏮または⏭キーを押すと**スキップキーモード**になります。

❷ タイトルグループを選ぶ

PGM/CHARAC.キーを数回押して、下記の文字グループの中から" タイトルグループ "を選びます。 →70

アルファベットの大文字グループ
- A～Z とスペース（1文字分の空白）

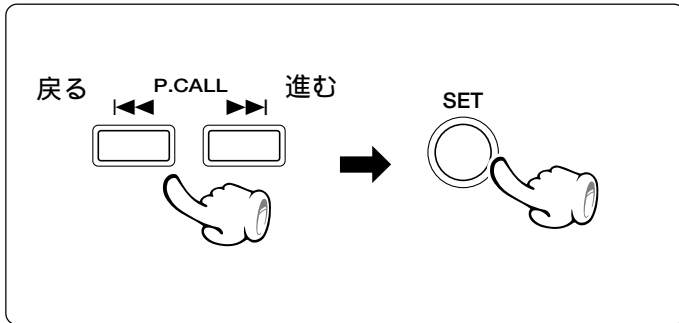
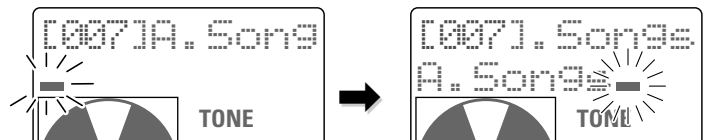
アルファベットの小文字グループ
- a～z とスペース

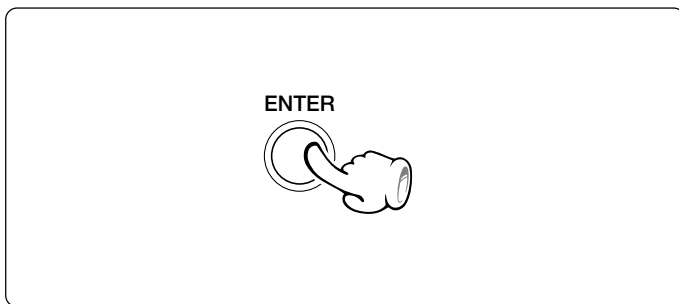
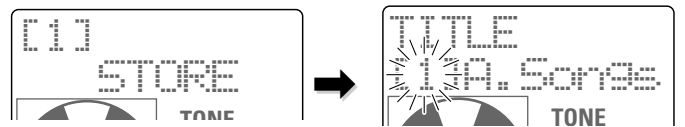
数字、記号グループ
- 0～9 と記号

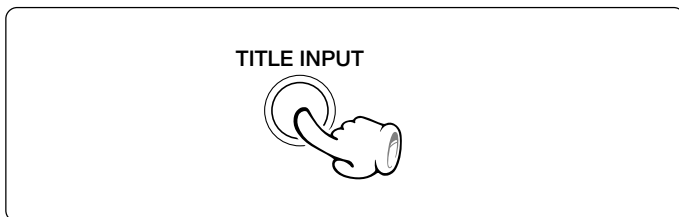
カタカナグループ
- アイウエオ...ガギグゲゴ...

タイトルグループ
- タイトルメモ（[123]）、タイトルコピー（ディスクタイトル、トラックタイトル）

次ページにつづく

3 コピーする曲を選ぶ

7曲め"**A.Songs**"を選ぶ　確定する

タイトルがスクロールします

4 タイトルメモに保存する

必要があれば手順1-2〜3をくり返し、別のタイトルメモにコピーを続けます

- 手順1で設定したタイトルメモ番号[1]に"**A.Songs**"が登録されたことになります。

5 編集を終了する

タイトルメモの内容を他のディスク名、タイトル名にコピーする

"ディスクまたはトラックタイトルをタイトルメモにコピーする(TITLE COPY)"の手順で、選ぶ項目(コピー先とコピー元)を反対にすることでこの編集ができます。
下記の手順の操作のみ⏮、⏭で選ぶ項目を変更してください。

手順1-2　保存先としてタイトルメモ番号の代わりにディスクタイトルやトラックタイトルを選ぶ
手順3　コピーするタイトルメモ番号("[1]"〜"[3]")を選ぶ

タイトルメモ自体を編集することができます。

- "**ディスクまたはトラックタイトルをタイトルメモにコピーする(TITLE COPY)**"の手順3の後に、手順3を繰り返し、同じタイトルメモに追加のコピーを続けることができます。
- "**ディスクまたはトラックタイトルをタイトルメモにコピーする(TITLE COPY)**"の手順3の後に、**PGM/CHARAC.**キーを押してから"**ミニディスクや曲にタイトルをつける**"の手順2で文字を入力する手順でコピーしたタイトルを編集することができます。

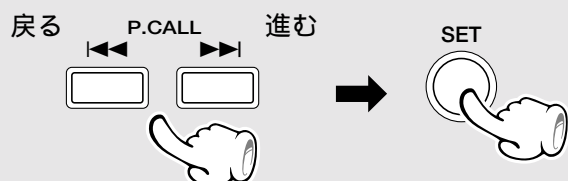
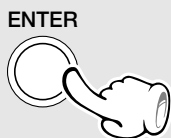
入力切り換えを"MD"にする→27

タイトルメモに文字を入力する(TITLE MEMO)

例：タイトルメモ番号[2]に"TREASURE"という文字を保存する

保存先のタイトルメモ番号を選ぶ

❶ TITLE INPUTキーを押す

❷ 保存先のタイトルメモ番号([1]〜[3])の中から[2]を選び、確定する

❸ "ミニディスクや曲にタイトルをつける"の手順❷-❶〜❷-❸を行ない"TREASURE"という文字を入力する →67 →68

❹ タイトルメモに保存する

ENTER

❺ 編集を終了する

中止するときは、もう一度TITLE INPUTキーを押します。

① **DISC** .... **(ディスクタイトル)**
② **001, 002** .... **(トラックタイトル)**
③ **ALL ERASE ?** .... **(ディスクとトラックタイトルの全消去)**
④ **[1], [2], [3]** .... **(タイトルメモ)**

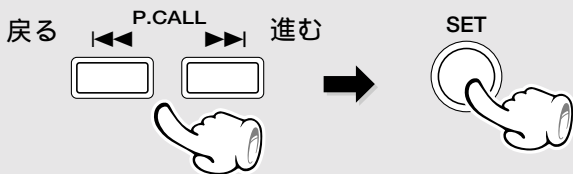
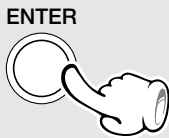
文字入力モード時

- 手順❷で設定したタイトルメモ番号[2]に**"TREASURE"**が登録されたことになります。
- 必要があれば手順❶〜❹を繰り返し、別のタイトルメモに文字入力を続けます。

編集した内容を取り消す（EDIT CANCEL）

停止中に次の操作を行うと、ディスクを入れてから現在までに行った編集を取り消すことができます。万一、編集後にミニディスクを取り出したり、他の録音をしたりすると、取り消すことができなくなります。

編集機能を使用するときはPGM/CHARAC.キーを押して"TRACK"を点灯させてください。

入力切り換えを"MD"にする ➡27

⏮、⏭ キーを押すたびに切り換わります。

① Q.MOVE ?
② Q.ERASE ?
③ CANCEL ?

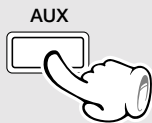
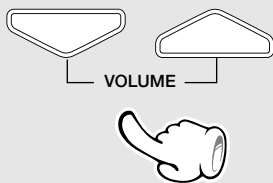
- "CANCEL ⃠"が表示された場合は、それまで行われた編集を取り消すことができません。
  "CANCEL"できない場合としては、編集後MDを取り出した後の場合、録音操作した場合、"UTOC ERROR"(➡86)が表示された後に編集した場合などです。

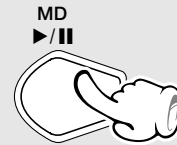
外部機器ソースを聴く

アナログまたは光デジタル出力を備えているカセットデッキ、MDレコーダーあるいはCS/BSチューナーなどを本機に接続して聴くことができます。

"外部ソース(音源)機器との接続"→14 を参照して、あらかじめ接続を済ませてください。

アナログ機器を聴くとき

❶ **AUXキーを押す**

❷ **外部機器の演奏をはじめる**

❸ **音量を調節する**

デジタル機器を聴くとき

❶ **MD ▶/❚❚キーを押す**

- すでにMDがセットされているときは再生が始まりますので■ **STOP**キーを押して停止させてください。

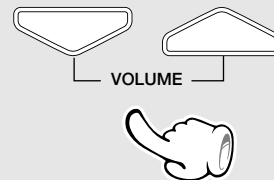
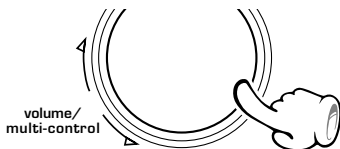
❷ **MONITOR(モニター)モードを"ON"にする。** →36

❸ **外部機器の演奏をはじめる**

❹ **音量を調節する**

外部ソース機器の入力レベルを調整する

❶ **menu(メニュー)/demo(デモ)キーを押す**

❷ **volume(ボリューム)/multi(マルチ)-control(コントロール)つまみで"AUX D.(デジタル) LEVEL(レベル)"または"AUX A.(アナログ) LEVEL(レベル)"を選び、set(セット)キーを押す**

❸ **volume/multi-controlつまみを使ってお好みのレベルに調整する**

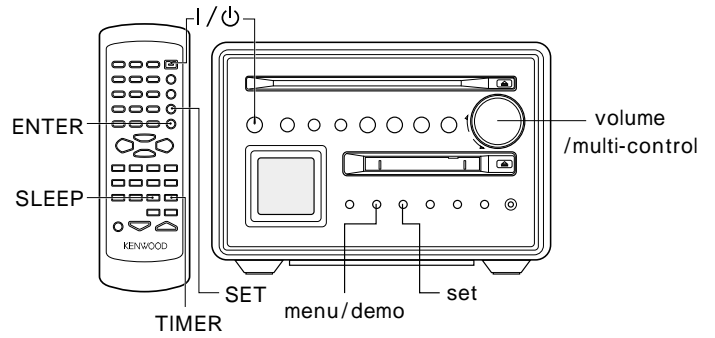
AUX D. LEVEL(外部ソースのデジタル入力レベル)
.... -∞〜+12 dB

AUX A. LEVEL(外部ソースのアナログ入力レベル)
.... -4〜+3

❹ **setキーを押して確定する**

入力レベルを調節すると、AUX入力端子/デジタル入力端子に接続された外部ソース機器からの録音レベルも変化します。

タイマーを使う

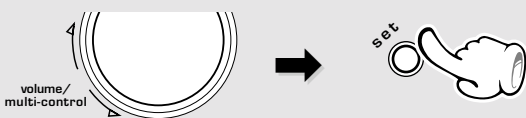
CD、MDの再生、ラジオ受信、あるいはそれらの録音を、指定した時間帯に自動的に行うことができます。設定後1回だけ働くO.T.T.タイマー、おやすみ前に設定すると自動的に電源がオフ（スタンバイ）になるSLEEPタイマー、設定を保存して毎日働く二つのPROG.タイマーがあります。

"時刻合わせ"を済ませてから、タイマーを設定してください。→19

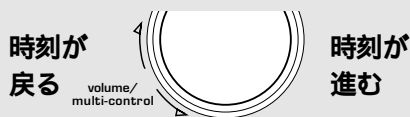
簡単にタイマーを設定する（O.T.T.タイマー）

開始時刻をセットするだけの簡単な操作で、タイマー再生、受信ができます。電源をオフ（スタンバイ）にする前に、最後に選ばれていたソースが再生、受信されます。タイマー再生開始から1時間が経過すると、電源が自動的にオフ（スタンバイ）になります。O.T.T.タイマーは設定の後1回だけ働きます。

❶ 聴きたいソースを選び、音量を設定する

❷ menu/demoキーを押す

❸ volume/multi-controlつまみを回して"TIMER SET?"を選びsetキーを押す

❹ volume/multi-controlつまみを回して、"O.T.T. ?"を選びsetキーを押す

❺ volume/multi-controlつまみを回してオン時刻をセットする

❻ setキーを押す

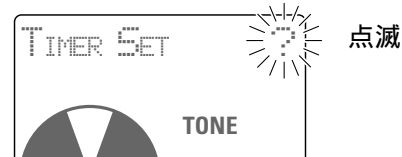
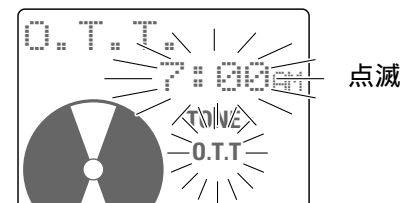
❼ volume/multi-controlつまみで"ON"または"OFF"を選び、setキーを押す

❽ I/⏻キーで電源オフ（スタンバイ）状態にする（"I/⏻/timer"インジケーターが橙色に点灯します）

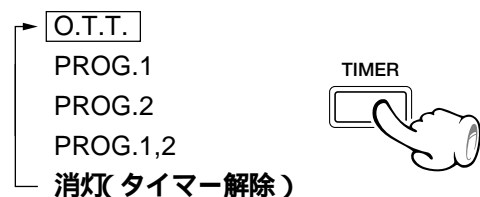
タイマー設定が済んだら、電源がオフ（スタンバイ）になっていることを必ず確認してください。

O.T.T.タイマーで再生されている間は、プログラムタイマーは働きません。

- デジタル入力（**OPTICAL**）をモニター中に**O.T.T.**を設定してもMDがセットされている場合、MDが再生されます。

❸ タイマーの選択

❺ オン時刻設定

- オン時刻は、5分単位で設定できます。

タイマーを解除または再び同じ内容のタイマーをセットするには

リモコンのTIMERキーを押すたびに（表示が）切り換わります。

- タイマーを解除するには、**TIMER**キーを繰り返し押して"**O.T.T.**"を消灯させます。また、O.T.T.タイマー動作中にタイマーを解除すると通常の再生、受信になります。
- 設定した内容のタイマーを再びセットするには、**TIMER**キーを繰り返し押して"**O.T.T.**"を表示させてください。

プログラムタイマー再生(AI タイマー再生)、タイマー録音

2系統(PROG.1 、PROG.2)の24時間タイマー(毎回働きます)です。
PROG. 1、PROG. 2 には、働く時間帯と内容を予約しておき、必要に応じて、働かせるか、働かせないかを選べます。

- タイマー予約は、PROG. 1とPROG. 2の2系統を、同時に予約できます。
- PROG. 1とPROG. 2の動作する時間は重ならないように、1分以上の間隔をあけて予約してください。

"時刻合わせ"を済ませてから、タイマーを設定してください。 →19

1 聴きたい(録音したい)ソースを選び、音量を設定する

- ラジオ放送を聴く

放送局をプリセットしておく →30 →31 →33

- CDを聴く

ディスクをセットする(プログラム再生はできません。) →24

- MDを聴く

MDをセットする(プログラム再生は出来ません) →27

- 録音をする

録音の準備をする →34 →35 **手順1〜3**

- 外部入力機器を録音、再生する

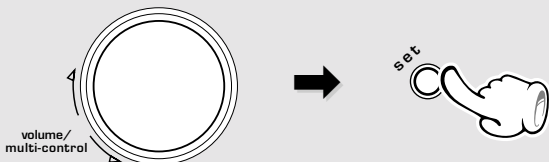
AUX入力端子またはデジタル入力端子に接続された機器の録音、再生の場合は"他の機器との接続"を参照し接続を済ませて、外部機器のタイマー設定をする。 →14 →75

- 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。

2 タイマー予約モードにする

❶ **menu/demoキーを押す**

❷ **volume/multi-controlつまみを回して"TIMER SET?"を選んでsetキーを押す**

❸ **volume/multi-controlつまみを回して、"PROG.1 ?"を選んでsetキーを押す**

次ページに続く

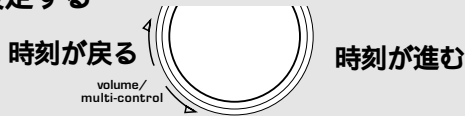
PROG.1で午前10:30から午前11:30までラジオ放送を再生するときの例

❷ タイマーの選択

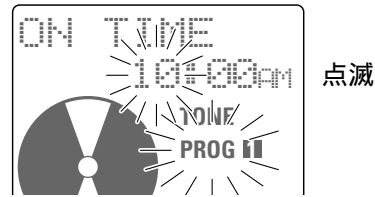
❸ PROG.1を選択

- 間違えたときは**menu/demo**キーを押して解除し、手順❷からやり直してください。
- すでに予約されているときは、新しい設定内容にかわります。

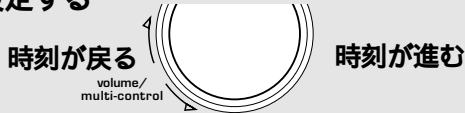
3 オン時刻を設定する

❶ volume/multi-controlつまみを回してオン時刻を設定する

❷ setキーを押す

❸ ❶、❷の手順を行ない"時"を入力した後、同じ手順で"分"を入力する

❶ オン"時"

● 間違えたときはmenu/demoキーを押して解除し、手順❷からやり直してください。

4 オフ時刻を設定する

❶ volume/multi-controlつまみを回してオフ時刻を設定する

❷ setキーを押す

❸ ❶、❷の手順を行ない"時"を入力した後、同じ手順で"分"を入力する

❶ オフ"時"

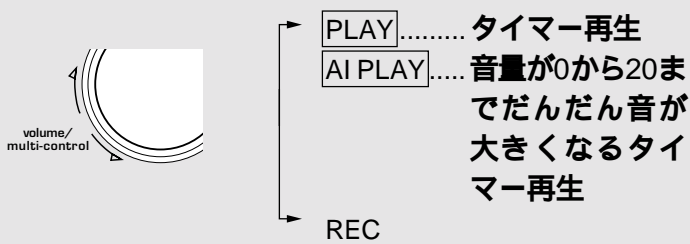
● 間違えたときはmenu/demoキーを押して解除し、手順❷からやり直してください。

5 希望の予約を設定する

タイマー再生、AIタイマー再生をするとき

❶ volume/multi-controlつまみを回してタイマーモードを選ぶ

① "PLAY"または"AI PLAY"を選ぶ

- PLAY .... タイマー再生
- AI PLAY 音量が0から20までだんだん音が大きくなるタイマー再生
- REC

② setキーを押す

次ページに続く

タイマー録音をするとき

❶ volume/multi-controlつまみを回して録音モードを選ぶ

① "REC"を選ぶ

- PLAY
- AI PLAY
- REC

② setキーを押す

❷ 入力ソースを選ぶ

① 何を録音するか選ぶ

- TUNER
- AUX（外部ソースのアナログ機器） →38
- DIGITAL AUX（外部ソースのデジタル機器） →38

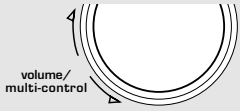
② setキーを押す

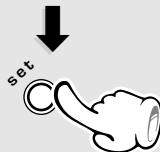
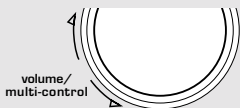
"AUX"または"DIGITAL AUX"を選択したときは手順❹へ

次ページに続く

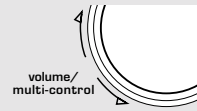
❷ 入力ソースを選ぶ

① 何を聴くか選ぶ

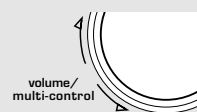
TUNER .... ラジオ放送
CD .... CD
MD .... MD
AUX .... (外部ソースのアナログ機器)
DIGITAL AUX ..... (外部ソースのデジタル機器)

② setキーを押す

❸ 放送局を選ぶ(TUNERを選択したとき)

① プリセットチャンネルを選ぶ

② setキーを押す

❸ 放送局を選ぶ(TUNERを選択したとき)

① プリセットチャンネルを選ぶ

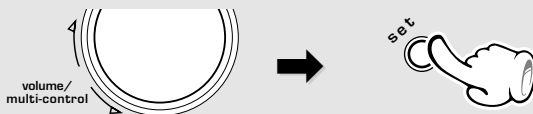
② setキーを押す

❹ 録音モードを選ぶ

①

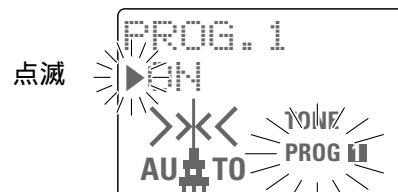
STEREO
.... ステレオ録音
LP2
.... ステレオ2倍長時間録音
LP4
.... ステレオ4倍長時間録音
MONO
.... モノラル録音

② setキーを押す

6 プログラムをオンオフする

❶ volume/multi-controlつまみで"ON"または"OFF"を選び、setキーを押す

● "ON"のとき、設定した内容が表示されます。

❷ I/⏻キーで電源オフ(スタンバイ)状態にする("I/⏻/timer"インジケーターが橙色に点灯します。)

❶ オン選択時

● プログラムをオンにしないと、タイマーは働きません。

以上でプログラムタイマー予約は終了です。
PROG. 2にプログラムタイマー予約をする場合も同様の手順でおこなってください。

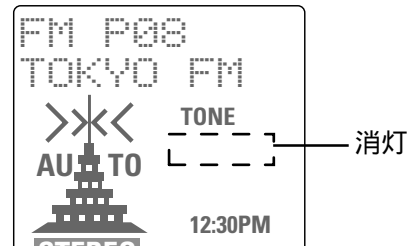
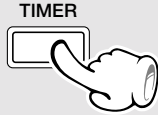
電源がオフになっていることを確認してください。

応用編

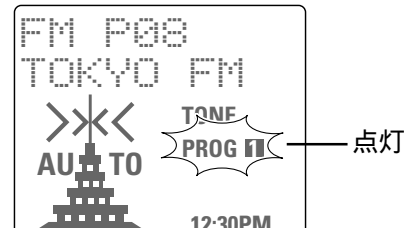
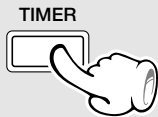
メモ

● タイマー録音のときは、タイマーで電源がオンになると、MUTEが自動的に働きます。 →23
● 予約内容は、削除できません。内容を変更することにより、以前の内容が消されます。
● 電源をオフ(スタンバイ)状態にしたとき"I/⏻/timer"インジケーターが橙色の点滅をしているときは、タイマーは実行されません。この場合はもう一度時刻合わせをやり直してください。 →19
● タイマー設定後、電源がオフ(スタンバイ)中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、I/⏻/timerインジケーターが橙色に点滅します。この場合はもう一度時刻合わせをやり直してください。 →19

タイマーの実行を解除するには(リモコンのみ)

TIMER(タイマー)キーを繰り返し押して"PROG(プログラム). 1"または"PROG(プログラム). 2"の表示を消灯させる。

● 予約内容は記憶しています。

設定した内容のタイマーを再びセットする(リモコンのみ)

TIMERキーを繰り返し押して"PROG. 1"または"PROG. 2"を点灯させる。また、PROG．1と2両方のタイマーをセットするときは"PROG. 1 2"を点灯させる。

● ディスクの準備、音量の調節をしておきます。

音楽を聴きながら眠る(SLEEP(スリープ)タイマー)(リモコンのみ)

何分後に電源をオフ(スタンバイ)するか設定します。

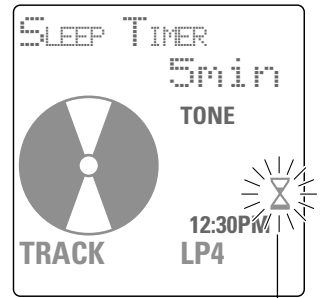
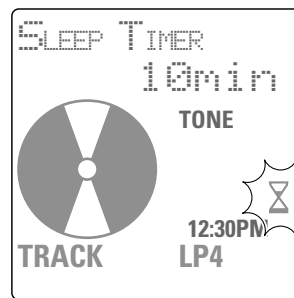
CD,MD再生中またはラジオ受信中などにSLEEP(スリープ)キーを押す

● 設定したタイマー時間が過ぎると、自動的に電源がオフ(スタンバイ)になります

● SLEEPキーを１回押すと、残り時間の確認ができます。残り時間の確認中、リモコンのVOLUME(ボリューム)キーで、残り時間の微調整(1分単位の増減)ができます。

本システムは、スリープタイマーの動作中は各機器の表示部の明るさが自動的に暗くなるように設定されています。(オートディマー機能)

● 1回押すごとに10分ずつ増加していきます。最大約90分まで設定できます。

10 → 20 → 30 ..... 70 → 80 → 90 → 解除

残り5分以内になると点滅します

解除するには

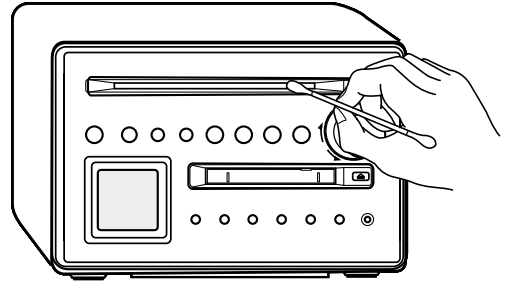
電源をオフ(スタンバイ)にするか、またはSLEEPキーを解除になるまで繰り返し押す

● タイマー設定後、電源がオフ(スタンバイ)中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、I/⏻/timer(タイマー)インジケーターが橙色に点滅します。この場合は、もう一度時刻合わせをやり直してください。 →19

メンテナンス

CD挿入口の清掃

挿入口回りのクリーニング

CDの挿入口はホコリがたまりやすいので、時々掃除してください。
ホコリがたまった状態でCDを挿入するとディスクを傷つける場合があります。

セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、付属のクリーニングクロス、または柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させせることがあります。

参考

結露にご注意

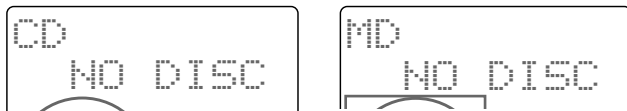
本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。
このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のような状態のときは、特に結露にご注意ください。
気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

1. 電源をオンにします。

2. 入力モードを"CD"または"MD"にして、数秒間待って、表示部が図の表示になったことを確かめてください。ディスクが入っている場合は、≜キーで取り出してください。

3. 電源をオフにします。

MD-Clipデータについて

MD-Clipデータ（静止画等）を書き込んだディスクは、本機で録音・編集を行わないでください。Clipのデータ内容が失われることがあります。

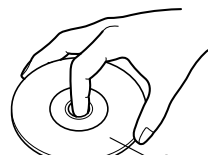
著作権について

あなたが録音または録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜くとすぐ消えるメモリーの内容	時計表示 SOUND（サウンド） CONTROL（コントロール） BACK（バック） LIGHT（ライト）の設定
電源プラグをコンセントから抜いて最低1日で消えるメモリーの内容	電源の状態（オンまたはスタンバイ）、A.P.S.、電源をオフにする直前のソース選択、AUXレベル、ボリュームレベル、バランスの設定、受信バンド、周波数、プリセット放送局、PROG.（プログラム）タイマーの設定内容、TONEの設定、REC LEVEL（録音レベル）の設定、REC INPUTの設定、CONTRAST（コントラスト）の設定

MD部

電源オフ（スタンバイ）あるいは、電源コンセントからプラグを抜いた状態でのメモリーの記憶時間は、約3日間です。長時間の停電や電源プラグ抜けなどによって、録音や編集に関する情報（ミニディスク取り出し時に記録される）がミニディスクに記録される前に消滅、または破壊されることがあります。また、消えてしまった情報は回復できません。
録音、編集後には、録音、編集の情報を記録するために、必ずミニディスクを取り出してください。

本機で使用できるディスクについて

CD（12cm、8cm）、CDVと CD - G（CDグラフィックス）、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。
ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入ったものなど IEC規格に合格したものをご使用ください。

ディスク取扱上のご注意

取り扱い
再生面にふれないように持ってください。

再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

お手入れ
ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。

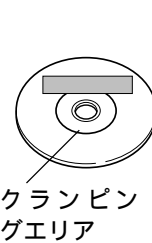
保存
長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

異常なディスクは使用しない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。
円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ディスクアクセサリーについて

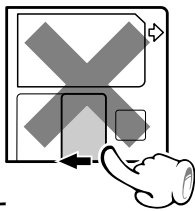
音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて

図の様にクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。シール類をはがした後、糊がレーベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

ミニディスクの取扱いかた

ミニディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ミニディスクに直接触れない

**シャッターを手で開けて、ミニディスクに直接触れないでください。
無理に開けるとこわれます。**

置き場所について

極端に温度の高いところ（直射日光の当たるようなところ）や、湿度の高いところには置かないでください。

ほこり対策について

**セットの中では、ミニディスクのシャッターは常に開いています。
従ってミニディスクにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにミニディスクをセットから取り出してください。**

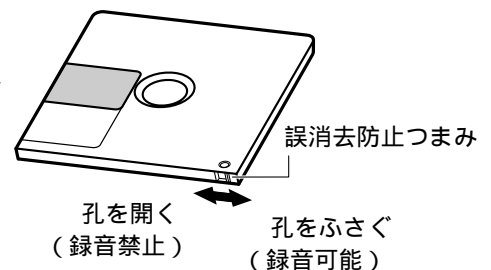
ディスクアクセサリーについて

レンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、ミニディスクの誤消去防止つまみを開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。

カートリッジラベルについて

ラベルははがれないように端のほうまでしっかりと貼り付けてください。またラベルエリアよりはみだしてラベルを貼らないでください。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器(この商品)の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、右記にお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会

東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
東京オペラシティータワー11F
電話 (03)5353-0336(代表)
FAX.(03)5353-0337

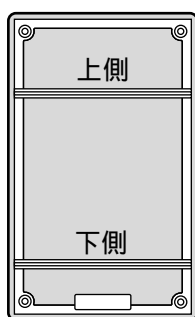
ステレオ音のエチケット

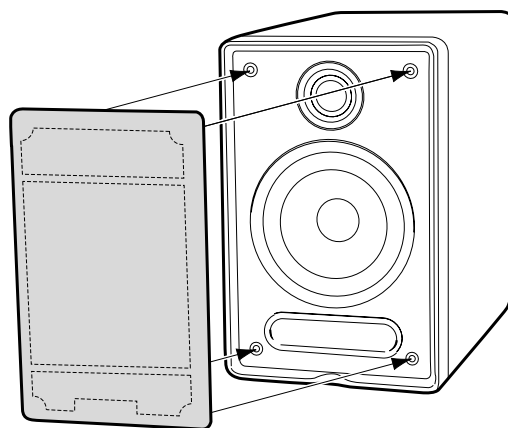
楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品

スピーカーネットの取り付けかた

スピーカーネットを取り外し、再び取り付けるときは以下の方法で取り付けます。
スピーカーネットの裏面の突起部をスピーカー上の穴に合わせ、軽く押し込みスピーカー に取り付けます。

スピーカーネットの裏面

スピーカーネットには、上下の方向性があります。スピーカーネットの裏面をご覧になり、上下を確認して取り付けて下さい。

故障かな？と思ったら...

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作(操作できない、ディスプレイの誤表示など)することがあります。この場合、次の手順をお試しください。
マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

電源プラグをコンセントから抜き、menu/demoキーを押しながら、差し込み直す。

アンプ部・スピーカー部

症　状	処　置
音が出ない。	● **"接続のしかた"**をみて正しく接続し直す。 →12 →13 ● 音量を上げる。 ● **MUTE**をオフ(解除)にする。 →23 ● ヘッドホンが差し込まれているときはプラグを抜く
"I/⏻/timer"の表示が赤く点滅し,音が出ない。	● スピーカーコードがショートしている。電源を切ってスピーカーコードを接続し直す。
"I/⏻/timer"の表示がオレンジ色に点滅する。	● 時刻合わせをやり直す。 →19
ヘッドホンから音がでない。	● ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。 →23
スピーカーの片側から音が出ない。	● **"接続のしかた"**をみて正しく接続し直す。 →13 ● 左右のバランスを調節する。 →23
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	● 現在時刻をもう一度合わせる。 →19
タイマーが作動しない。	● **"時刻合わせ"**をみて現在時刻を合わせる。 →19 ● タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。 →78 ● リモコンの**TIMER**キーで実行指定する。 →79

チューナー部

症　状	処　置
放送局が受信できない。	● アンテナを接続する。 →12 ● 放送バンドを合わせる。 →30 ● 受信したい放送局の周波数に合わせる。 →33
雑音が入る。	● 外部アンテナを道路から離して設置する。 ● 電気器具の電源を切ってみる。 ● テレビから離す。
プリセットしたあと、⏮、⏭キーを押しても受信できない。	● 受信できる周波数の放送局をプリセットする。 →33 ● 長い間、電源コンセントを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。 もう一度プリセットする。 →31 →33

リモコン部

症　状	処　置
リモコンで操作できない。	● 新しい電池に入れ換える。 →17 ● 操作範囲内で操作する。 →17

CDプレーヤー部

症　状	処　置
ディスクを入れても再生できない。	● レーベル面を上にして、正しく入れる。 ● **"ディスク取扱上のご注意"**を参照し、ディスクを清掃する。 ➞82 ● **"結露にご注意"**を参照し、露を蒸 発させる。 ➞81
音声が出ない。	● **CD ▶/II** キーを押す。 ● **"ディスク取扱上のご注意"**を参照し、ディスクを清掃する。 ➞82
音とびがする。	● **"ディスク取扱上のご注意"**を参照し、ディスクを清掃する。 ➞82 ● 震動のない場所に設置する。

MDレコーダー部（MD規格上の症状）

症　状	原　因
まだ録音可能時間があるのに"DISC FULL"と表示される。	● 256曲以上（トラック番号256以上）は録音できません。（トラック番号256未満でも録音できないことがあります。）このとき、ディスプレイのリメインタイム表示は、" **0:00**"になります。
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。	● ミニディスク全体の残り時間が12秒*1未満の場合は、ディスプレイのリメインタイム表示は、" **0:00**"になります。消去された曲の合計時間が12秒*1を超えると録音可能時間の表示が変化します。 ● 編集を繰り返したミニディスクの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	● 編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。 ● 異なる録音モードの曲同士はつなげません。
録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間と一致しない。	● 2秒間*2を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	● さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック（曲）番号が正しく付かない。	● 録音したソース（CDほか）の内容によっては、短い曲ができることがあります。
"READING"が表示される時間が異常に長い。	● 新品の録音用MD（全く録音されていなもの）を入れた場合、通常よりも長い間"**READING**"が表示されれます。
タイトルが1792文字入らない。	● タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。

***1 録音モードがSTEREOモードの場合（LP2/MONOモードの場合：24秒　LP4モードの場合：48秒）**
***2 録音モードがSTEREOモードの場合（LP2/MONOモードの場合：4秒　LP4モードの場合：8秒）**

MDレコーダー部（その他の症状）

症　状	処　置
再生キーを押しても音が出ない。	● 録音済ミニディスクまたは再生用ミニディスクを入れる。
録音ができない	● 誤消去防止つまみを元に戻すか、録音可能なミニディスクに取り換える。 ➞82 ● AUX入力レベルを調節する。 ➞38 ● 入力切換を録音したいソースにする。 ➞34
音がひずむ。	● 録音レベルの設定をしていない。（AUX使用時）AUX入力レベルを調節する。 ➞38
雑音が大きい。	● 電気器具、テレビなどから離す。

MDレコーダー部（メッセージ表示の一覧）

ディスプレイ表示	意　味	処　置
MD NO DISC	● ミニディスクが入っていない。	● ミニディスクを入れる。
CAN'T COPY	● SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。	● 本機では録音できません。
DISC FULL	● 録音可能なエリアがない。 ● 256曲目を録音しようとしている。	● 録音用ミニディスクを入れ換える。 ● 一枚のディスクには256曲以上録音できません。
FULL	● 最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。	● **"入力できる文字数について"**を参照してください。
BLANK DISC	● 何も録音されていないミニディスクです。	● 再生するときは、録音済みのミニディスクに取り換える。
NO TRACKS	● 曲は録音されていないが、ミニディスクタイトルが書かれている。	● そのまま録音して問題ありません。
READING	● **TOC**[*1] 情報を読んでいます。	● 故障ではありません。
WRITING	● 編集、録音時の各種の情報を書き込んでいる。	● 故障ではありません。
UTOC ERROR	● **UTOC**[*2] の内容が異常である。	● **"ALL ERASE"**を行う。それができないときは、ミニディスクを取り換えてください。
CAN'T EDIT	● 長さが短すぎる曲など、制限を超えて編集しようとしている。	● 制限範囲内で編集する。
ok？　の点滅	● "編集を実行してもよろしいですか"という確認のためのメッセージ。	● **ENTER**キーを押すと、編集が実行されます。
PROTECTED	● ミニディスクが**"録音禁止"**されている。	● **"録音可能"**にする。
PLAY ONLY	● 再生専用のミニディスクである。	● 録音用ミニディスクを入れる。
Please wait XXmin	● CD倍速録音をはじめてから、74分以内に同じディスクを倍速録音しようとしている。	● 表示されている時間が経過してから倍速録音をはじめるか、通常録音で録音する。
Sorry Buffer Over	● 74分以内に31枚以上のCDを倍速録音しようとしている。	● 表示されている時間が経過してから倍速録音をはじめるか、通常速度で録音する。

＊1 すべてのミニディスクには音声信号以外にTOC（Table of Contents）という情報が記録されています。
TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。

＊2 TOC以外に録音用ミニディスクに特有な情報をUTOCと呼びます。
このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証書　（別途添付）
製品には保証書が（別途）添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は
修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットへお問い合わせください。
（お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください。）

補修用性能部品の最低保有期間
ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。
この期間は、通商産業省の指導によるものです。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について
システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器（基本システム）すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼されるときは
「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットにお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は
保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットが修理をさせていただきます。
修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎているときは
保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

出張修理／持込修理
「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号（Serial No.）
- お買い上げ年月日
- 故障の症状（できるだけ具体的に）
- ご住所（ご近所の目印等も併せてお知らせください）
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

修理料金の仕組み
（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）
- 技術料：　故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代：　修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料：　製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お買上げ店名

電話（　　　　）　　　-

定格

本体部 (RD-VH55MD)

[アンプ部]

実用最大出力 .... 20W+20W（EIAJ 6Ω）
スーパーウーファープリアウト .... 2 V / 600Ω
入力感度/インピーダンス
AUX .... 200 mV / 47 kΩ
出力レベル/インピーダンス
TAPE REC .... 200 mV / 2.2 kΩ
周波数特性
AUX .... 50 Hz〜50 kHz（0 dB, -3dB）

[チューナー部]

FMチューナー部
受信周波数範囲............................ 76 MHz〜90 MHz
アンテナインピーダンス ....75 Ω
AMチューナー部
受信周波数範囲......................... 531 kHz〜1,629 kHz

[MDレコーダー部]

読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り（半導体レーザー）
記録方式 .... 磁界変調オーバーライト方式
音声圧縮方式 .... ATRAC,ATRAC 3
D/Aコンバーター ....1 Bit
ワウ・フラッター (EIAJ) .... 測定限界以下

[CDプレーヤー部]

読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り（半導体レーザー）
D/Aコンバーター ....1 bit
サンプリング周波数......................... 8 fs (352.8 kHz)
周波数特性 (EIAJ) .... 20 Hz〜20,000 Hz
ワウ・フラッター (EIAJ)
.... 測定限界以下

[電源部・その他]

電源電圧・電源周波数 AC100V, 50Hz/60Hz
定格消費電力 (電気用品取締法に基づく表示) ...... 53 W
最大外形寸法
（横置き時） .... 幅 220 mm
高さ 150 mm
奥行 356 mm
（縦置き時） .... 幅 142 mm
高さ 228 mm
奥行 356 mm
質量（重量） ....6.0kg(正味)

スピーカー部 (LS-VH55)

エンクロージャー ....バスレフ型
スピーカー構成
ウーファー .... 100mm コーン型
ツイーター .... 19mm ドーム型
インピーダンス 6Ω
最大入力 30W
最大外形寸法
（縦置き時） .... 幅 142 mm
高さ 228 mm
奥行 252 mm
（横置き時） .... 幅 220 mm
高さ 150 mm
奥行 252 mm
質量（重量） .... 2.8kg（1本）

1. これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
2. 極端に寒い（摂氏0度以下の）場所では、十分に性能を発揮できないことがあります。

KENWOOD
株式会社 ケンウッド
〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

● 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室 (東京) 電話 (03) 3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9
(大阪) 電話 (06) 6394-8085 〒532-0034 大阪市淀川区野中北 2-1-22
● アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、添付の「ケンウッド サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットにご相談ください。